

添付資料

目 次

添付資料－1 高浜発電所 第4号機 保全計画（第24保全サイクル）

添付資料－1 高浜発電所 第4号機 保全計画（第24保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「高浜発電所 第4号機 保全計画（第24保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所 第4号機
保 全 計 画
(第24保全サイクル)

施設管理の実施に関する計画

目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。） 及び期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・	1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・	2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

別紙：点検計画（第2 4 保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第24回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第24回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第24保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

（蒸気発生器伝熱管に有意な信号指示が認められた場合に工事計画届出予定）

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた場合に、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中

b. 火災報知器設置工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年2月）

c. 主変圧器取引用計量器設置関連GCB改良工事

○ 工事概要

電気事業法の改正に基づき、2025年3月31日までに検定付き電力量計の設置が義務付けられたことから、電力量計及び電力量計用のVT・CTを設置する。

VT・CT設置にあたり、設置スペース確保するため、主変しゃ断器（CB140）を小型化した型式へと取替える。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中（完了予定：2022年9月）

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・高経年化技術評価および定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

別紙

点 検 計 画
(第 2 4 保 全 サ イ ク ル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

② 保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフ
イス、レデューサ、フローグラス 等

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
 - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」^{※2}と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
 - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」^{※2}により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
 - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第24保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」※³を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※⁴も記載している。

※³：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※⁴：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/38
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/38
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/38
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	13/38
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	17/38
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
放射線管理施設	19/38
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	26/38
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	30/38
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	30/38
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
蒸気タービン	31/38
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	36/38
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	38/38
プラント総合	38/38

- 別表-1：クラス1 機器供用期間中検査7年計画
 別表-2：クラス2 機器供用期間中検査10年計画
 別表-3：クラス3 機器供用期間中検査10年計画
 別表-4：クラス1 機器Ni 基金使用部位特別検査7年計画
 別表-5：クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画
 別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
 別表-7：重大事故クラス1 機器供用期間中検査10年計画
 別表-8：重大事故クラス2 機器供用期間中検査10年計画
 別表-9：重大事故等クラス3 機器供用期間中検査10年計画
 別表-10：クラス1 配管特別検査 3年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 【炉心】	照射燃料集合体	※ 1式	高	1F	○	23回	燃料集合体外側検査	※：炉心設計による	
	照射燃料集合体(取出燃料)	※ 1式	高	1F	○	23回		※：炉心設計による	
	燃料集合体	157体	高	1F	○	23回	燃料集合体内側配置検査		
	内挿物 (1) 制御棒クラスタ (2) パーナブルボイズ (3) フラキングアダプタ (4) 2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検(炉内配置)	高	1F	○	23回	燃料集合体内側配置検査	※：炉心設計による
原子炉本体 【原子炉容器】	原子炉本体のうち炉心		高	1F	○	23回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後	
	原子炉容器		高	13M	○	23回			
	制御棒クラスタ案内管支持ピン	104本	高	3F	○	21回	構造健全性検査		
	燃料移送装置	1式	高	1F	○	23回	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施	
	燃料取扱設備	燃料取扱クレーン	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
			2. 分解点検他		39M~195M	○	23回		
	使用済燃料ピットクレーン	使用済燃料ピットクレーン	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施
			2. 分解点検他		39M~195M	○	22回		
	新燃料エレベータ		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施
			2. 分解点検他		39M~195M	○	21回		
1. 機能・性能試験			1F		○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
2. 分解点検他			39M~195M		○	21回			
燃料取扱建屋クレーン		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
		2. 簡易点検(年次点検)		12M	○	23回		プラント運転中	
燃料取扱工具	燃料位置ラック	1. 外観点検	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
		1. 外観点検		1F	○	23回			
		1. 分解点検他		13M	○	23回			
		1. 特性試験		13M	○	23回	プラント状態監視設備機能検査	先行実施	
燃料取扱設備の取扱施設及び貯蔵施設 【燃 料取扱設備】その他機器	燃 料取扱設備 事故時監視計器 水位監視計器 温度監視計器 1次系計測制御装置	1. 機能・性能試験	高・低	13M	○	23回			
		1. 分解点検他		13M	○	23回			
		1. 特性試験		13M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
		1. 特性試験		13M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
燃料取扱設備の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置 使用済燃料貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	1. 機能・性能試験	高	13M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
		1. 特性試験		13M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
燃料取扱設備の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置 使用済燃料貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	1. 機能・性能試験	高	13M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	
		1. 特性試験		13M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	可搬式代替圧入ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機)	高	1Y 130M 78M	○ ○ -	23回 -	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 20回施設定期検査時設置 20回施設定期検査より追加
	送水車	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	-	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 2021.3より設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機含む) 1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入替)	低	1F 78M CBM 13M	○ - - ○	23回 20回 11回 23回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	先行実施 (振動診断: 3M)
	A 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入替)	低	78M CBM 13M 130M	- - ○ -	20回 11回 23回 20回	先行実施 (振動診断: 3M)	
	B 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入替)	低	78M CBM 13M 130M	- - ○ -	20回 11回 23回 20回	先行実施 (振動診断: 3M)	
	A 使用済燃料ピットフィルタ	1. 開放点検	低	130M	-	20回	先行実施	
	B 使用済燃料ピットフィルタ	1. 開放点検	低	130M	-	19回	先行実施	
	A 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(胴側) 2. 非破壊試験	高	195M 195M 195M	- - -	20回 20回 20回	先行実施	
	B 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(胴側) 2. 非破壊試験	高	195M 195M 195M	- - -	20回 20回 20回	先行実施	
	C 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(胴側) 2. 非破壊試験	高	195M 195M 195M	- - -	20回 20回 20回	先行実施	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	130M B 130M	- ○ ○	20回 20回 23回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験)	高・低	B 65M 65M 104M~130M	○ ○ ○ -	21回 21回 21回 23回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の機器	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	104M~130M 13M~208M	- ○	23回 23回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M 13M	- - - ○	20回 20回 20回 23回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	B※ 130M 104M 13M	- - - ○	20回 20回 20回 23回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃1式燃料取替用水設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 2. 分解点検 3. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	B 130M B 182M	- ○ - -	20回 20回 16回 16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃1式燃料取替用水設備〕その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 2. 分解点検	高	B 130M B 182M	- ○ - -	20回 20回 16回 16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃1式燃料取替用水設備〕その他の機器	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	65M~130M 65M~260M	○ -	23回 23回	1次系ポンプ機能検査	一部先行実施 一部B Mあり 一部先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A. 蒸気発生器	伝熱管 3, 243本	高	13M	○	23回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		2. 開放点検		13M	○	23回			
		3. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	23回			
		4. 簡易点検 (ガスケット取替他)		13M	○	23回			
	B. 蒸気発生器	伝熱管 3, 247本	高	13M	○	23回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		2. 開放点検		13M	○	23回			
		3. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	23回			
		4. 簡易点検 (ガスケット取替他)		13M	○	23回			
	C. 蒸気発生器	伝熱管 3, 253本	高	13M	○	23回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		2. 開放点検		13M	○	23回			
		3. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	23回			
		4. 簡易点検 (ガスケット取替他)		13M	○	23回			
	加圧器安全弁	4V-RC-065 4V-RC-066 4V-RC-067	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F	○	23回	加圧器安全弁機能検査	
					B	○	23回	加圧器安全弁漏えい検査	
					13M	○	23回	加圧器安全弁分解検査	
	加圧器逃がし弁	4-PCV-454C	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁機能検査	
					1F	○	23回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
					26M	○	23回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-454C	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験)	高	13M	○	23回		
					13M	○	23回		
加圧器逃がし弁	4-PCV-455A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁機能検査		
				1F	○	23回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				26M	○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455A	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験)	高	13M	○	23回			
				13M	○	23回			
加圧器逃がし弁	4-PCV-455B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁機能検査		
				1F	○	23回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				26M	○	22回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455B	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験)	高	13M	○	23回			
				13M	○	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(断技術)
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	1. 機能・性能試験 4V-MS-526A 4V-MS-527A 4V-MS-528A 4V-MS-529A 4V-MS-530A 4V-MS-531A 4V-MS-532A 4V-MS-526C 4V-MS-527C 4V-MS-528C 4V-MS-529C	高	1F	○	23回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 漏えい試験						
		3. 分解点検						
	主蒸気安全弁機能検査	1. 機能・性能試験 4V-MS-526B 4V-MS-527B 4V-MS-528B 4V-MS-529B 4V-MS-530B 4V-MS-531B 4V-MS-532B 4V-MS-530C 4V-MS-531C 4V-MS-532C	高	1F	○	23回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 漏えい試験						
		3. 分解点検						
	主蒸気安全弁機能検査	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 4-PCV-3610 4-PCV-3620 4-PCV-3630	高	1F	○	23回	主蒸気安全弁機能検査 最終ヒートシントシク動輸送設備動作検査	
		2. 漏えい試験						
		3. 分解点検						
	主蒸気安全弁機能検査	1. 分解点検 4-PCV-3610 4-PCV-3620 4-PCV-3630	高	13M	○	23回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 簡易点検 (特許試験)						
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 4V-MS-533A 4V-MS-533B 4V-MS-533C						
	2. 分解点検							
	2. 分解点検							
	原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	4V-MS-533A 4V-MS-533B 4V-MS-533C	高	39M	○	21回	2次系弁検査	
2. 分解点検								
2. 分解点検								
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	4V-MS-533A 4V-MS-533B 4V-MS-533C	高	39M	-	23回	2次系弁検査		
	2. 分解点検							
	2. 分解点検							
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	4V-MS-533C	高	39M	-	22回	2次系弁検査		
	1. 機能・性能試験							
	2. 分解点検							
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1式	高	B	○	23回	2次系弁検査		
	2. 分解点検							
	3. 簡易点検 (グラントヘッドバッキン取替)							
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1式	高	B	-	23回	2次系弁検査		
	2. 分解点検							
	3. 簡易点検 (特許試験)							
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕 その他の機器	1式	高	52M~130M	○	23回	2次系弁検査		
	1. 分解点検他							
	1. 分解点検他							
			高	13M~195M	○	23回		
			低	13M~130M	○	23回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.1の反映
		2. 分解点検(ポンプ)			—	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検(電動機)			—	20回		
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)			○	23回		
	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.1の反映
		2. 分解点検(ポンプ)		78M	—	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検(電動機)		130M	—	20回		
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)		26M	○	23回		
	A 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	18回		
	B 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	17回		
		2. 非破壊試験		130M	—	17回	1次系熱交換器検査	
	低圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-RH-041A						
		1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-RH-041B						
		1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4-PCV-601						
		1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4-PCV-611						
		1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-SI-193A						
		1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-SI-193B						
		1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-SI-202A						
		1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-SI-202B						
		1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-SI-202C						
		1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		4V-SI-203A						
	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-SI-203B							
	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-SI-203C							
	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-SI-208A							
	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-SI-208B							
	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-SI-209A							
	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-SI-209B							
	1. 分解点検	高	130M	○	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回隔設定期検査より追加	
	1式	1. 分解点検	高	156M	—	23回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は通用する 設備(断技術)				
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査					
		2. 分解点検		52M~130M	○	23回						
		3. 簡易点検 (グラントパドバッキン取)		52M~130M	○	23回						
		1. 機能・性能試験		高	B	○	23回	1次系弁検査				
		2. 分解点検			52M~156M	○	23回					
		3. 簡易点検 (特性試験)			13M~208M	○	23回					
		原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他のAM (代替再循環) 機器		原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の1式	1. 分解点検他	高	65M~260M	○	23回	1次系弁検査		
					1. 分解点検他		130M~182M	○	23回			
					1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)		高	1F	○	23回	非常用炉心冷却系統機能検査	
					1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)			1F	○	23回	その他原子炉注水系統機能検査	[対象設備] ・ A 高圧注入系 ・ B 高圧注入系 (自己冷却) ・ C 高圧注入系 (海水による電動機冷却) ・ A 低圧注入系 ・ B 低圧注入系 (海水による電動機冷却)
1. 分解点検	130M		○		22回			非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査				
1. 分解点検	130M		○		21回			非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査				
1. 分解点検	130M		○		20回			非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査				
1. 分解点検	130M		○		20回			非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査				
1. 分解点検	130M		○		22回			非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査				
1. 分解点検	130M		○		22回			非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査				
1. 分解点検	260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査								
1. 分解点検	260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査								
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	高圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	高圧注入系主要弁駆動部	1. 分解点検	高	260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
		1. 分解点検		260M	○	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	高圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁、駆動部含む)	高	1F	○	23回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査					
		1. 機能・性能試験 (弁、駆動部含む)		1F	○	23回						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備(断技術)		
原子炉冷却系施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系主要弁	4V-S1-132A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-132B	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-132C	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-134A	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-134B	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-134C	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-136A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-136B	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		4V-S1-136C	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		1式	高	156M	—	20回	20回施設定検時に設置 20回施設定検時より追加 保全の有効性評価結果No. 2の反映			
		蓄圧注入系主要弁駆動部	A 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—		20回	原子炉格納容器再循環システム分解検査
			B 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—		20回	原子炉格納容器再循環システム分解検査
	C 蓄圧タンク		1. 開放点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器再循環システム分解検査		
	ほう酸注入タンク		1. 開放点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器再循環システム分解検査		
	燃料取替用水タンク		1. 開放点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器再循環システム分解検査		
	格納容器再循環タンク		1. 外観点検	高	1F	○	23回	原子炉格納容器再循環システム分解検査		
	格納容器再循環タンク		1. 外観点検	高	10Y	—	22回	原子炉格納容器再循環システム分解検査		
	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑用人替他)	高	1F 130M 78M 26M	○ — — ○	23回 — — 23回	原子炉格納容器再循環システム分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	恒設代替蓄圧注水系		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査		
	恒設代替蓄圧注水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B 130M 78M 26M	— — — ○	— — — 23回	20回施設定検時に設置 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加 20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No. 3の反映		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	代替注水系 (薬品注水系含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	—	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
		3. 簡易点検 (潤滑油人替他)	高	130M	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	A(代替注水系・電動機)	2. 分解点検 (ポンプ)	高	13M~130M	○	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		3. 簡易点検 (潤滑油人替他)	高	130M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
	B(代替注水系・電動機)	2. 分解点検 (ポンプ)	高	13M~130M	○	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		3. 簡易点検 (潤滑油人替他)	高	156M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
	A(代替まほう酸/薬品注水系・電動機)	2. 分解点検 (ポンプ)	高	13M~130M	○	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		3. 簡易点検 (潤滑油人替他)	高	130M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
	B(代替まほう酸/薬品注水系・電動機)	2. 分解点検 (ポンプ)	高	13M~130M	○	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		2. 分解点検 (電動機)	高	156M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
		3. 簡易点検 (潤滑油人替他)	高	13M~130M	○	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	—	1次系弁検査 1次系安全弁検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	2. 分解点検	高	52M~260M	○	23回	—	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	3. 簡易点検 (特許試験)	高	B	○	23回	—	1次系弁検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	1. 機能・性能試験	高	52M~182M	○	23回	—	1次系弁検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	2. 分解点検	高	52M~208M	○	23回	—	1次系逆止弁検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	3. 簡易点検 (特許試験)	高	13M~260M	○	23回	—	1次系弁検査	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の機器	1. 分解点検他	高	26M~208M	○	23回	—	一部BMあり 一部先行実施	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	1. 分解点検他	低	26M~208M	○	23回	—	一部BMあり 一部先行実施	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	
	1. 分解点検他	低	26M~208M	○	23回	—	一部BMあり 一部先行実施	23回定期事業者検査時に設置 23回定期事業者検査より追加	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	化学体積制御系 A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	化学体積制御系機能検査	定期事業者検査起動後 (振動診断：3M)	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	20回	非常用心心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	22回			
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	20回	非常用心心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M)	
		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	21回			
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	20回	非常用心心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M)	
		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	23回			
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回			
	B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機 C 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 開放点検	高	130M	—	18回			
		1. 開放点検	高	130M	—	20回			
		1. 開放点検	高	130M	—	20回			先行実施
		1. 開放点検	高	130M	—	20回			先行実施
		1. 開放点検 (管側)	高	130M	—	20回			
		1. 開放点検 (側側)		195M	—	20回			
		2. 非破壊試験		130M	—	20回	1次系熱交換器検査		
		1. 分解点検	高	130M	—	23回	その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		1. 分解点検	高	130M	—	23回	その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		1. 分解点検	高	130M	○	19回	その他原子炉注水系主要弁分解検査		
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査			
	2. 分解点検		13M～260M	○	23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査		一部先行実施	
	1. 機能・性能試験	高	B	○	23回	1次系弁検査			
	2. 分解点検		13M～156M	○	23回				
	3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	13M～208M	○	23回				
	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	23回			一部先行実施	
	1. 分解点検他	低	13M～260M	○	23回			一部B Mあり 一部先行実施	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【蒸気タービンの附属設備】	補助給水系	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	補助給水系機能検査		
		1.分解点検(ポンプ)	高	130M	-	21回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：IM)	
		1.分解点検(電動機)		104M	-	23回			
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	2.簡易点検(潤滑油入替他)			13M	○	23回		
		1.分解点検(ポンプ)	高	130M	-	22回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：IM)	
		1.分解点検(電動機)		104M	-	22回			
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	2.簡易点検(潤滑油入替他)			13M	○	23回		
		1.機能・性能試験	高	B	-	23回	2次系ポンプ機能検査		
		2.分解点検		52M	-	23回	補助給水系ポンプ分解検査	駆動部のタービン含む	
	タービン動補助給水ポンプ	3.簡易点検(潤滑油入替他)			13M	○	23回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	23回	2次系弁検査		
		2.分解点検		52M~130M	○	23回	2次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設【蒸気タービンの附属設備】その他の弁	3.簡易点検(ブランド入替)			52M	○	23回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	23回			
		2.分解点検		52M~156M	○	23回			
原子炉冷却系統施設【蒸気タービンの附属設備】1式	3.簡易点検			13M~52M	○	23回			
	1.分解点検他	高	156M	-	21回		一部20回施設定検時に設置		
	1.分解点検他	低	13M~130M	○	23回				
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却水設備】	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験(弁、駆動部含む)	高	1F	○	23回	原子炉補機冷却系機能検査		
		1.機能・性能試験	高	B※	-	23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	-	23回			
	A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	2.分解点検(電動機)			104M	-	22回		
		3.簡易点検(潤滑油入替他)			26M	○	22回		
		1.機能・性能試験	高	B※	-	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	2.分解点検(ポンプ)			130M	-	20回		
		2.分解点検(電動機)			104M	-	20回		
		3.簡易点検(潤滑油入替他)			26M	-	23回		
	C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	○	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：12M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	○	19回			
		2.分解点検(電動機)		104M	-	20回			
	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	3.簡易点検(潤滑油入替他)			26M	○	23回		
		1.機能・性能試験	高	B※	-	23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	-	20回			
E 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	2.分解点検(電動機)			104M	-	23回			
	3.簡易点検(潤滑油入替他)			26M	-	23回			
	1.機能・性能試験	高	B※	-	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施		
	2.分解点検(ポンプ)			130M	-	20回			
	2.分解点検(電動機)			104M	-	21回			
	3.簡易点検(潤滑油入替他)			26M	○	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	A 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	23回		
		3. 漏えい試験		1F	○	23回		
		4. 機能・性能試験		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
	B 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	23回		
		3. 漏えい試験		1F	○	23回		
		4. 機能・性能試験		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
	C 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	23回		
		3. 漏えい試験		1F	○	23回		
		4. 機能・性能試験		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査	
D 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		13M	○	23回			
	3. 漏えい試験		1F	○	23回			
	4. 機能・性能試験		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な番号指示が認められた場合に実施	
	5. 開放点検		※X	—	23回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度事業者検査		
原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁 可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁	2台	1. 開放点検	高	130M	—	20回	1次系真空破壊弁検査	
		1. 分解点検		130M	—	20回		
	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	可搬型重大事故等対応設備機能検査	
		2. 分解点検		10F	—	—		20回施設点検時に設置
	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		2. 分解点検		130M	○	23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	21回	1次系弁検査	
		2. 分解点検		65M～156M	—	21回		
		3. 簡易点検(特許試験)		65M～208M	—	21回		
	1式	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	23回		
1. 分解点検他		65M～208M		○	22回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)		
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】	原子炉補機冷却海水系 A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験(弁、駆動部含む)	高	1F	○	23回	原子炉補機冷却海水系機能検査			
		1. 機能・性能試験	高	B※	-	23回	2次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M (対象: 電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施		
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	-	23回	2次系ポンプ分解検査			
	B 海水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)			104M	-	23回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)			26M	-	23回			
		1. 機能・性能試験	高	B※	-	22回	2次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M (対象: 電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施		
	C 海水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (ポンプ)			52M	-	22回	2次系ポンプ分解検査		
		2. 分解点検 (電動機)			104M	-	22回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)			26M	○	22回			
	原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 その他の弁	原子炉補機冷却海水設備 1式	1. 機能・性能試験	高	B※	○	22回	2次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M (対象: 電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検 (ポンプ)		39M	○	21回	2次系ポンプ分解検査		
			2. 分解点検 (電動機)		104M	-	22回			
		原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 その他の機器	3. 簡易点検 (潤滑油入替)			26M	○	23回		
			1. 機能・性能試験	高	B	-	20回			
			2. 分解点検		117M	-	23回	2次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 その他の弁		原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	23回			
			2. 分解点検		117M	○	23回			
			1. 分解点検他	高	13M~195M	○	23回			
		原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 1式	1. 分解点検他	低	13M~130M	○	23回		一部BMあり	
			1. 機能・性能試験	高・低	13M	○	23回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
			2. 特性試験		13M	○	23回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		計測制御系統施設 【制御材】	照射済制御棒クラスタ	1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による
				1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による
				1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による
	照射済バーナブルポイズン		1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による	
			1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による	
			1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による	
	照射済2次中性子源		1. 外観点検	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による	
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	制御棒クラスタ検査		
			計48本							
計測制御系統施設 【制御棒駆動装置】	制御棒クラスタ		1. 機能・性能試験	高	B※	-	23回	制御棒駆動系機能検査	(振動診断: 3M) ※落電機または電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検 (送電機)		78M	-	23回			
			2. 分解点検 (電動機)		CBM	-	15回			
	A 制御棒駆動装置MGセット (送電機・電動機)		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)			13M	○	23回		
			1. 機能・性能試験	高	B※	-	21回		(振動診断: 3M) ※落電機または電動機の分解点検に合わせて実施	
			2. 分解点検 (送電機)		78M	-	21回			
	B 制御棒駆動装置MGセット (送電機・電動機)	2. 分解点検 (電動機)			CBM	-	17回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)			13M	○	23回			
		1. 機能・性能試験	高	13M	○	23回				
	A TWS緩和設備	1. 機能・性能試験	高	13M	○	23回	重大事故時安全停止回路機能検査			
		2. 特性試験		13M	○	23回	重大事故時安全停止回路機能検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)			
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	A ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：IM) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 40の反映			
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	20回	ほう酸ポンプ分解検査				
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	22回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		39M	○	23回					
		B ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	○		23回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：IM) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 40の反映
				2. 分解点検 (ポンプ)		78M	○		20回	ほう酸ポンプ分解検査	
				2. 分解点検 (電動機)		78M	—		23回		
		C ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※	○		20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：IM) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 40の反映
				2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—		20回	ほう酸ポンプ分解検査	
	2. 分解点検 (電動機)		78M	○		20回					
	A 1次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	7回					
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	21回					
	B 1次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	8回					
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	20回					
	A ほう酸タンク	1. 開放点検	高	26M	—	23回					
		1. 開放点検		195M	—	11回					
		1. 開放点検		195M	○	9回					
	A ほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検	高	130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査				
		1. 分解点検		130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査				
		1. 分解点検		130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査				
	B ほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検	高	130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査				
		1. 分解点検		130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査				
1. 分解点検		130M		—	20回	1次系真空破膜弁検査					
1次系純水タンク	1. 開放点検	低	195M	—	14回						
	1. 開放点検		130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査					
	1. 開放点検		130M	—	20回	1次系真空破膜弁検査					
ほう酸フィルタ	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	一部先行実施				
	2. 分解点検		104M~130M	○	23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査					
	1. 機能・性能試験		B	—	20回	1次系弁検査					
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	156M	—	20回					
		2. 分解点検		26M~221M	○	23回					
		1. 分解点検他		104M~195M	—	23回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 [ほう素再生設備]	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検 (管側)	高	130M	-	17回	先行実施	
		1. 開放点検 (胴側)		195M	-	21回		
		2. 非破壊試験		130M	-	17回	1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検 (管側)	高	130M	-	17回		
		1. 開放点検 (胴側)		195M	-	21回		
		2. 非破壊試験		130M	-	17回	1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検 (管側)	高	130M	-	21回	先行実施	
		1. 開放点検 (胴側)		195M	-	21回		
		2. 非破壊試験		130M	-	21回	1次系熱交換器検査	
		1. 機能・性能試験	高・低	B	-	23回	1次系安全弁検査	
計測制御系統施設 [ほう素再生設備] の他の弁	計測制御系統施設 [ほう素再生設備] の他機器	1. 機能・性能試験	高・低	104M~130M	○	23回	1次系安全弁検査	
		2. 分解点検		104M~130M	○	21回	1次系逆止弁検査	
		1. 分解点検他	高	104M~130M	○	21回	一部先行実施	
		1. 分解点検他	低	130M~156M	○	17回	一部BMあり 一部先行実施	
		1. 機能・性能試験 (圧縮機、電動機含む)	高	1F	○	23回	制御用空気圧縮系機能検査	
		1. 分解点検 (圧縮機)	高	26M	-	23回	(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 5の反映	
		1. 分解点検 (電動機)		CBM	-	13回		
		2. 簡易点検 (Vベルト調整他)		26M	○	22回		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	-	23回		
		1. 分解点検 (圧縮機)	高	26M	○	22回	(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 5の反映	
計測制御系統施設 [ほう素再生設備] の他機器	格納容器内制御用空気圧縮機	1. 機能・性能試験 (電動機)	高	CBM	-	14回		
		2. 簡易点検 (Vベルト調整他)		26M	-	23回		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回		
		1. 機能・性能試験 (圧縮機、電動機含む)	高	1F	○	23回	制御用空気圧縮系機能検査	
		1. 分解点検 (圧縮機)	高	26M	-	23回	(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
		1. 分解点検 (電動機)		78M	-	21回		
		2. 簡易点検 (Vベルト調整他)		26M	○	22回		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回		
		1. 分解点検 (圧縮機)	高	26M	○	22回	(振動診断: 3M (対象: 電動機)) 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
		1. 分解点検 (電動機)		78M	-	23回		
計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁	計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他機器	2. 簡易点検 (Vベルト調整他)		26M	-	23回		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回		
		1. 機能・性能試験	高	B	-	22回	1次系安全弁検査	
		2. 分解点検		130M~195M	-	23回	1次系逆止弁検査	
		1. 分解点検	高	156M	-	22回		
		1. 分解点検	高	13M~260M	○	23回	保全の有効性評価結果No. 7の反映	
		1. 分解点検他	低	13M~260M	○	23回	一部BMあり 保全の有効性評価結果No. 8の反映	
		1. 分解点検						
		1. 分解点検						
		1. 分解点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(断技術)
計測制御系統施設 [その他設備]	1. 原子炉保護系ロジック回路	34回路 26回路	高	1F	○	23回	安全保護系機能検査	
	2. 安全防護系ロジック回路		高・低	13M	○	23回	安全保護系設定値確認検査	
	1. 原子炉施設保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 保護継電器 (2) 核計測装置 設定器 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 8個 (2) 核計測装置	1. 特性試験						
	事故時監視計器 11個 圧力監視計器 29個 水位監視計器 14個 流量監視計器 13個 温度監視計器 2個	1. 特性試験	高	13M	○	23回	プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器ガス試料採取系統設備	1台	高	1F	○	23回	プラント状態監視設備機能検査	
	計測制御系統施設 破損板	4台	高	130M	—	17回	1次系破損板検査	
	1. 制御体制御系	1式	高・低	13M	○	23回		
	2. 加圧器水位制御系							
	3. 加圧器圧力制御系							
	4. 蒸気発生器水位制御系							
	1次系及び2次系計測制御装置	1式	高	1F	○	23回	計測制御系機能検査	一部定期事業者検査起動後
	炉外核計測装置 中性子領域計測装置 2台 中間領域計測装置 2台 出力領域計測装置 8台	1. 特性試験	高・低	13M	○	23回	計測制御系監視機能検査	一部定期事業者検査起動後
	炉内核計測装置	1式	高	13M	○	23回	核計測設備検査	一部定期事業者検査起動後
	炉内核計測装置	1. 機能・性能試験	高・低	26M	○	23回	核計測設備検査	
		2. 分解点検		26M	○	23回		
		3. 簡易点検 (特性試験)		13M	○	23回		
	炉内計装用シンブルチューブ	50本	高	52M	—	23回	炉内計装用シンブルチューブ体積検査	
	制御体位置指示装置	1式	高	13M	○	23回	制御体位置指示装置設定値検査	
	1. ハーミオンロジック回路	5回路	高	1F	○	23回	安全保護系機能検査	
	2. ハーミオン保護系	3回路	高					
	安全防護系	1式	高					
	総合インテントローック	1. タービントリップによる原子炉、発電機トリップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路	高	1F	○	23回	総合インテントローック検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)		
計測制御系統施設 [その他設備]	原子炉の停止制御回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査			
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査			
	計測制御系統施設 [その他設備] 其他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	-	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
			2. 分解点検		78M~260M	○	23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
	計測制御系統施設 [その他設備] 其他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	-	23回	1次系弁検査		
			2. 分解点検		65M~156M	-	23回			
			3. 簡易点検 (特許試験)		65M~208M	-	23回			
	計測制御系統施設 [その他設備] 其他の機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	23回	一部先行実施 保全の有効性評価結果No. 9の反映		
			1. 分解点検他	低	12M~260M	○	23回	一部先行実施 一部BMあり 保全の有効性評価結果No. 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16の反映		
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ほう酸回収装置	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	液体廃棄物処理系統機能検査		
			1. 分解点検他	低	65M~130M	○	23回			
		ほう酸回収装置 (弁、機器)	1式	簡易点検 (ガスケレットパッキン取替)		130M	-	22回		
				1. 機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系統機能検査	
				2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	20回		
		A 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		2. 分解点検 (電動機)		117M	-	20回		
3. 簡易点検 (潤滑油入替)					39M	○	21回			
1. 機能・性能試験				低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系統機能検査		
B 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機			2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	15回			
			2. 分解点検 (電動機)		117M	-	20回			
			3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-	22回			
A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機			1. 機能・性能試験	低	B※	-	22回	液体廃棄物処理系統機能検査		
			2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	19回			
			2. 分解点検 (電動機)		130M	-	22回			
B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機			3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	○	21回			
	1. 機能・性能試験		低	B※	-	21回	液体廃棄物処理系統機能検査			
	2. 分解点検 (ポンプ)			CBM	-	21回				
A 補助建屋サンプポンプ・電動機		2. 分解点検 (電動機)		130M	-	20回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-	22回				
		1. 機能・性能試験	低	B※	-	22回	液体廃棄物処理系統機能検査			
B 補助建屋サンプポンプ・電動機		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	-	21回				
		2. 分解点検 (電動機)		143M	-	22回				
		1. 機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系統機能検査			
A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	-	20回				
		2. 分解点検 (電動機)		143M	-	20回				
B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系統機能検査			
		2. 分解点検 (ポンプ)		143M	-	20回				
A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機		2. 分解点検 (電動機)		260M	-	20回				
		2. 分解点検 (電動機)		143M	-	20回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)	
放射線廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	-	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	-	22回			
		2. 分解点検 (電動機)		143M	-	23回			先行実施
		1. 機能・性能試験		B※	-	20回		液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		260M	-	20回			
		2. 分解点検 (電動機)		143M	-	20回			先行実施
	B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	23回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	26M		-	23回			
		2. 分解点検 (電動機)	78M		-	20回			
	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	23回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	26M		-	23回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	13M		○	23回			
	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	26M		○	22回			
		2. 分解点検 (電動機)	78M		-	20回			
	A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	52M		-	22回			
		2. 分解点検 (電動機)	52M		-	22回			
	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	23回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	52M		-	23回			
		2. 分解点検 (電動機)	52M		-	23回			
	A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)	CBM		-	8回			
		2. 分解点検 (電動機)	117M		-	20回			
B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)	CBM		-	5回				
	2. 分解点検 (電動機)	117M		-	20回				
C 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	B※	低	B※	-	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)	CBM		-	7回				
	2. 分解点検 (電動機)	117M		-	20回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	-	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
放射線廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の補え1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	13M	○	23回	液体廃棄物貯蔵設備の警報機能検査	先行実施
	使用済樹脂スループ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	B※ CBM 117M 39M	— — — ○	20回 3回 20回 21回	固体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査 固体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	放射線廃棄物の廃棄施設【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低 高・低	B 130M~260M	— ○	23回 23回	1 次系安全弁検査 1 次系逆止弁検査 1 次系真空確保弁検査	一部先行実施
	放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	65M~260M 13M~208M	○ ○	23回 23回		一部BMあり 一部先行実施
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	格納容器内高レンゼリアモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	23回	エリアモニタ機能検査	23回定期事業者検査時に設置
	緊急時制御室エリアモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	—	エリアモニタ機能検査	23回定期事業者検査時に設置
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	空調機検査エリアモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	—	エリアモニタ機能検査	23回定期事業者検査時に設置
	格納容器内エリアモニタ (4R-10870)	1. 特性試験	高	13M	○	—	エリアモニタ機能検査	23回定期事業者検査時に設置
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	格納容器内エリアモニタ (4R-10871)	1. 特性試験	高	13M	○	—	エリアモニタ機能検査	23回定期事業者検査時に設置
	FV下流モニタ (4R-10800)	1. 特性試験	高	13M	○	—	プロセスモニタ機能検査	23回定期事業者検査時に設置
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	格納容器非気高ガスモニタ (4R-21)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		
	緊急時制御室エリアモニタ	2. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	補助建屋非気高ガスモニタ (4R-26)	2. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器じんあいモニタ (4R-40)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	格納容器ガスモニタ (4R-41)	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器非気高ガスモニタ (4R-41)	2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	廃水器空気抽出器ガスモニタ (4R-43)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	安全補機室非気高ガスモニタ (4R-46)	2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査実施後
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	一般補機室非気高ガスモニタ (4R-48A)	1. 機能・性能試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	一般補機室非気高ガスモニタ (4R-48B)	2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	使用済燃料ピット非気高ガスモニタ (4R-49)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	建屋内補機室知ガスモニタB (4R-50B)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	蒸気発生器ブローダウン水モニタ (4R-55)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	原子炉補機室冷却水モニタ (4R-56)	2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査実施後
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	補助蒸気(復水)モニタ (4R-57)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	23回 23回		
	タービンサンプ水モニタ (4R-58)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	1 次系建屋基礎湧水モニタ (4R-59)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査		
	A 高感度型主蒸気管モニタ (4R-65)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	B 高感度型主蒸気管モニタ (4R-66)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	C 高感度型主蒸気管モニタ (4R-67)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	1 次冷却材連続モニタ (4R-70)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
	ほう酸蒸留水モニタ (4R-71)		1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回		
			2. 特性試験		13M	○	23回		
	格納容器非気高レンジガスモニタ (低レンジ) (4R-80A)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器非気高レンジガスモニタ (高レンジ) (4R-80B)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋非気高レンジガスモニタ (低レンジ) (4R-81A)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋非気高レンジガスモニタ (高レンジ) (4R-81B)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	A 主蒸気管モニタ (4R-87)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	B 主蒸気管モニタ (4R-88)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	C 主蒸気管モニタ (4R-89)		1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内エアロック区域エリアモニタ (4R-2)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	A 充てんポンプ室エリアモニタ (4R-4A)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	B 充てんポンプ室エリアモニタ (4R-4B)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	C 充てんポンプ室エリアモニタ (4R-4C)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ (4R-5)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ (4R-7)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内オペレーティングフロアエリアモニタ (4R-10)		1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	2台	1. 特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又はは定期事業者検査停止中
	放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他の弁	1式	1. 分解点検	高	130M	-	22回	1 次系弁検査	
	放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他機器	1式	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高	13M	○	23回		
			1. 分解点検他	低	13M	○	23回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 【換気設備】	A格納容器非空気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		52M	○	20回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		52M	○	20回		
	B格納容器非空気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
	A格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
		1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	—	24回※	中央制御室非常用循環系機能検査	3号設備 ※：3号での実績
		2. 開放点検		52M	○	20回		
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	中央制御室非常用循環系機能検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
	緊急時制御室非常用循環系	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	—	緊急時制御室非常用循環系機能検査	23回定期事業検査より追加
		2. 開放点検		52M	○			
		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)		1F	—	24回※2	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	3号設備 ※1：よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2：3号での実績
		1. よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査)		1F	—	24回※2	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
中央制御室非常用循環系 (A系列)	2. 機能・性能試験	高	1F	—	24回※2	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査		
	3. 開放点検 (フィルタ取替)		X※1	—	24回※2			
	3. 開放点検		52M	—	22回※2	1次系換気空調設備検査		
	3. 開放点検		52M	—	22回※2			
中央制御室非常用循環系 (B系列)	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	○	23回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査		
	1. よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査)		1F	○	23回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査		
	2. 機能・性能試験		1F	○	22回	1次系換気空調設備検査		
	3. 開放点検 (フィルタ取替)		X※	—	23回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施	
	3. 開放点検	52M	—	20回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)		
放射線管理施設 【換気設備】	緊急時制御室給気フィルタユニット (A系列)	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	—	—※2	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査	3号設備 25回定期事業者検査時に設置 25回定期事業者検査より追加 ※1: よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2: 3号での実績		
		1. よう素フィルタ性能検査 (補えい率検査)		1F	—	—※2	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査			
		2. 機能・性能試験		1F	—	—※2				
		3. 開放点検 (フィルタ取替)		X※1	—	—※2				
		3. 開放点検		52M	—	—※2				
		緊急時制御室給気フィルタユニット (B系列)		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	1F	○	—	—	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査	23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加 ※: よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
				1. よう素フィルタ性能検査 (補えい率検査)	1F	○	—	—	緊急時制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
				2. 機能・性能試験	1F	○	—	—		
				3. 開放点検 (フィルタ取替)	X※	—	—	—		
				3. 開放点検	52M	○	—	—		
	A補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
		2. 開放点検		52M	○	20回				
	B補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
		2. 開放点検		52M	○	20回				
	燃料取扱室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
		2. 開放点検		52M	○	20回				
	3A中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	22回※		3号設備 ※: 3号での実績		
	3B中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	22回※		3号設備 ※: 3号での実績		
	3C中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	21回				
	3D中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	21回				
A格納容器給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	○	20回		先行実施			
B格納容器給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	○	20回		先行実施			
A補助建屋給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	○	20回		先行実施			
B補助建屋給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	○	20回		先行実施			
A格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M (対象: 電動機))			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回					
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	8回					
B格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M (対象: 電動機))			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	18回					
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	12回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
放射線管理施設 【換気設備】	A格納容器非真空ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M)	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	16回			
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	-	8回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		先行実施 (振動診断：2M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	18回			
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	-	3回			
	1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査				
	2. 分解点検 (ファン)	260M	-	18回					
	2. 分解点検 (電動機)	104M	-	21回					
	B格納容器非真空ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	19回			
		2. 分解点検 (電動機)		104M	-	21回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	-	23回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	20回			
	C格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	20回			
		2. 分解点検 (電動機)		104M	-	22回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	-	22回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	20回			
	D格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	20回			
		2. 分解点検 (電動機)		104M	-	22回			
3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M		-	22回				
1. 機能・性能試験		1F		○	23回	1次系換気空調設備検査			
2. 分解点検 (ファン)		260M		-	20回				
A格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	22回				
	2. 分解点検 (電動機)		91M	-	21回				
	1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	21回				
	2. 分解点検 (電動機)		91M	-	23回				
B格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	-	24回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：4M) 3号設備 ※：3号での実績		
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	20回※				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	22回※				
	1. 機能・性能試験		1F	-	24回※	1次系換気空調設備検査		(振動診断：4M) 3号設備 ※：3号での実績	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	17回※				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	24回※				
1. 機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査					
2. 分解点検 (ファン)	260M	-	16回						
2. 分解点検 (電動機)	78M	-	21回						
34A中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	16回				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	21回				
	1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	17回				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	23回				
34B中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	17回				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	23回				
	1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	17回				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	23回				
34C中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	17回				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	23回				
	1. 機能・性能試験		1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	-	17回				
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	23回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術				
放射線管理施設 【換気設備】	34A中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	24回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：4M (対象：電動機)) 3号設備 ※：3号での実績				
		2. 分解点検 (ファン)			—	19回※						
		2. 分解点検 (電動機)			—	22回※						
		34B中央制御室循環ファン・電動機			1. 機能・性能試験	高	1F		—	24回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：4M (対象：電動機)) 3号設備 ※：3号での実績
					2. 分解点検 (ファン)				—	15回※		
					2. 分解点検 (電動機)				—	24回※		
		34C中央制御室循環ファン・電動機			1. 機能・性能試験	高	1F		○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：4M (対象：電動機))
					2. 分解点検 (ファン)				—	20回		
					2. 分解点検 (電動機)				○	21回		
	34D中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：4M (対象：電動機))				
		2. 分解点検 (ファン)			—	16回						
		2. 分解点検 (電動機)			—	23回						
	34A中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	24回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1W) 3号設備 ※：3号での実績				
		2. 分解点検 (ファン)			—	16回※						
		2. 分解点検 (電動機)			—	21回※						
	34B中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	24回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1W) 3号設備 ※：3号での実績				
		2. 分解点検 (ファン)			—	17回※						
		2. 分解点検 (電動機)			—	24回※						
	34C中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1W)				
		2. 分解点検 (ファン)			—	16回						
		2. 分解点検 (電動機)			—	21回						
	34D中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1W)				
		2. 分解点検 (ファン)			—	16回						
		2. 分解点検 (電動機)			—	23回						
	A緊急時制御室結露ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	—※	—	3号設備 ※3号での実績 25回定期事業者検査時に設置 25回定期事業者検査より追加				
		2. 分解点検 (ファン)			—	—※						
		3. 分解点検 (電動機)			—	—※						
	B緊急時制御室結露ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	—	23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加				
		2. 分解点検 (ファン)			—	—						
		3. 分解点検 (電動機)			—	—						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術			
放射線管理施設 【換気設備】	A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W (対象: 電動機))			
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	19回					
		2.分解点検 (電動機)		CBM	-	8回					
		3.簡易点検 (モータ内部清掃)		156M	-	20回					
		B補助建屋給気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○		23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W (対象: 電動機))
				2.分解点検 (ファン)		260M	-		20回		
				2.分解点検 (電動機)		CBM	-		7回		
				3.簡易点検 (モータ内部清掃)		156M	-		19回		
		A補助建屋排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	低	1F	○		23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W) 保全の有効性評価結果No.17の反映
	2.分解点検 (ファン)		260M	-		20回					
	2.分解点検 (電動機)		X	-		20回					
	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W) 保全の有効性評価結果No.17の反映			
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	20回					
		2.分解点検 (電動機)		X	-	20回					
	C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W) 保全の有効性評価結果No.17の反映			
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	20回					
		2.分解点検 (電動機)		X	-	23回					
	A燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W (対象: 電動機))			
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	20回					
		2.分解点検 (電動機)		CBM	-	7回					
	B燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W (対象: 電動機))			
		2.分解点検 (ファン)		260M	-	20回					
		2.分解点検 (電動機)		CBM	-	8回					
	A燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W)			
2.分解点検 (ファン)		260M		-	20回						
2.分解点検 (電動機)		CBM		-	20回						
B燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4W)				
	2.分解点検 (ファン)		260M	-	20回						
	2.分解点検 (電動機)		CBM	-	20回						
自動タンク	1式	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施			
		2.分解点検他	高	65M	○	23回	1次系換気空調設備検査				
放射線管理施設【換気設備】その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	-	20回	1次系安全弁検査 1次系弁検査				
		2.分解点検		130M	○	20回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査				
放射線管理施設【換気設備】その他機器	1式	1.機能・性能試験	高	13M~260M	○	23回	1次系弁検査	一部先行実施			
		2.分解点検他	低	13M~260M	○	23回	1次系逆止弁検査				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術 10年に1回は設計圧力にて実施(第21回)施設定検において設計圧力にて実施
原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	—	22回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	エアロック	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(パッキン取替他)	高	2回/3F 52M 13M	○ ○ ○	23回 20回 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	非常用1個	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(パッキン取替他)	高	2回/3F 52M 13M	○ — ○	23回 23回 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	1個	1. 漏えい率試験 2. 非破壊試験 3. 開放点検	高	2回/3F 25%/10Y 13M	○ — ○	23回 15回 23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	ISTプログラムによる。 【別紙-6】
	1式	1. 漏えい率試験 2. 開放点検	高	2回/3F 開放時※	○ —	23回 22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	※但し、最長1回/10F
	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	70個	1. 機能・性能試験(弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	20個	1. 機能・性能試験(弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	4V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CS-00B	1. 分解点検	高	52M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-DP-003A	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-DP-003B	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-WL-355	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-WL-019	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CS-007	1. 分解点検	高	52M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-WL-354	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-WL-018	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-VR-001A	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-VR-001B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-VR-002A	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-VR-002B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-1A-508A	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CS-308	1. 分解点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CC-489	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CC-482	1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CC-523	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CC-521	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CC-546	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-CC-544	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	4V-1A-508B	1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)		
原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	原子炉格納容器隔離弁駆動部	1. 分解点検	高	52M~156M	—	23回				
		2. 簡易点検 (特許試験他)		13M~52M	○	23回				
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	原子炉格納容器真空室がし弁機能検査			
	原子炉格納容器真空室がし弁	2. 簡易点検 (漏えい試験)		高	1F	○	23回			
		1. 機能・性能試験	高・低	52M~130M	○	23回	1次系弁検査			
		2. 分解点検		52M~130M	○	23回	1次系弁検査 2次系弁検査			
	原子炉格納施設【原子炉格納容器】 他の弁	1式	3. 簡易点検 (グラランドバックン取付)		52M~130M	○	23回			
			1. 機能・性能試験	高・低	52M~65M	○	23回	1次系弁検査		
			2. 分解点検		13M~156M	○	23回			
	原子炉格納施設【原子炉格納容器】 他の弁駆動部	その1式	1. 分解点検他	高	13M~208M	○	23回			
			1. 分解点検他	低	13M~208M	○	23回		一部BMあり	
			1. 分解点検他	高	13M~208M	○	23回	原子炉格納容器安全系機能検査		
	原子炉格納施設 【圧力低減設備】 その他の安全設備	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] ・ A 原子炉格納容器スプレイポンプによる代替中心注 入系	
2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)				1F	○	23回				
1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)			高	1F	○	—	圧力逃がし系作動検査	24回定期作業者検査より追加		
原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	A 原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	20回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1W) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加		
		1. 分解点検 (電動機)		130M	—	23回		(振動診断：1W)		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	23回				
	B 原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	21回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断：1W)		
		1. 分解点検 (電動機)		130M	○	19回				
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		26M	○	22回				
	A 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検 (管側)	高	130M	—	19回				
		1. 開放点検 (胴側)		195M	—	19回				
		2. 非破壊試験		130M	—	19回	1次系熱交換器検査			
	B 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検 (管側)	高	130M	—	20回				
		1. 開放点検 (胴側)		195M	—	20回				
		2. 非破壊試験		130M	—	20回	1次系熱交換器検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 【圧力低減設備その他の安全設備】	原子炉格納容器スプレイス主要弁	1. 分解点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	156M	—	23回		
		1. 分解点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	65M	—	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	65M	—	23回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		1. 分解点検	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
1. 分解点検	高	65M	—	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
1. 分解点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
1. 開放点検	高	130M	—	22回	1次系真空破壊弁検査			
1. 分解点検	高	130M	—	22回				
1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	2台		高	1F	○	23回	アニュラス循環排気系機能検査	
A, Bアニュラス空気浄化フィルタユニット	A系	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	1F	○	23回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査	A系、B系交互に実施
		1. よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査)		1F	○	23回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
		2. 開放点検 (フィルタ取替)		X※	—	23回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系真空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系真空調設備検査	
		2. 開放点検		52M	○	20回		
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系真空調設備検査	(振動診断：1M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	○	20回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	○	21回		
Bアニュラス空気浄化ファン・電動機	B系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系真空調設備検査	(振動診断：1M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	○	23回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	○	21回		
		2. 分解点検 (ファン)		78M	○	21回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	安全補機室空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能検査 (よう素フィルタ性能検査)	高	1F	○	23回	1次系概気空調設備検査	
		1. 機能・性能検査		1F	○	23回		
		2. 開放点検 (フィルタ取替)		X※	-	23回		※よう素フィルタ性能検査結果により適重実施
		2. 開放点検		52M	○	23回		
	A安全補機室空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系概気空調設備検査	(振動診断：M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	22回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	-	21回		
	B安全補機室空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		(振動診断：M)
		2. 分解点検 (ファン)		260M	-	20回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	-	21回		
	静的触媒式水素再結合装置	1. 外観点検	高	5F	-	22回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	MB-046	1. 外観点検	高	5F	-	22回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	MB-047	1. 外観点検	高	5F	-	22回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	MB-048	1. 外観点検	高	5F	-	22回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	MB-049	1. 外観点検	高	5F	-	22回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	13個	原子炉格納容器水素燃焼装置	高	1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	1式	1次系計測制御装置	高	13M	○	23回	計測制御系監視機能検査	
	1式	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	高	B	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	130M	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		2. 分解点検		B	-	22回	1次系逆止弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	B	-	22回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1. 機能・性能試験	高	65M～156M	-	22回		
2. 分解点検			65M～208M	-	21回			
3. 簡易点検 (特許試験)			65M～208M	-	21回			
1式	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	高	13M～260M	○	23回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1. 分解点検他	低	65M～208M	○	23回		一部BMあり	
	1. 分解点検他		65M～208M	○	23回			
1式	その他AM (代替再循環、格納容器内注水) 機器	高	130M	-	20回	1次系逆止弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1機器供用期間中検査対象、重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1. 非破壊試験	高	7V	○	22回	クラス1 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-1]
		2. 漏えい試験		1F	○	23回	クラス1 機器供用期間中検査	
	クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1. 非破壊試験	高	10Y	○	23回	クラス2 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-2]
		2. 漏えい試験		10Y	—	23回	クラス2 機器供用期間中検査	
	クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	クラス3 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-3]
		2. 漏えい試験		10Y	○	22回	クラス3 機器供用期間中検査	
	クラス1機器N1基合金使用部位 (重大事故等クラス1機器供用期間中検査対象、重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1. 非破壊試験	高	3V	○	21回	供用期間中特別検査のうちクラス1 機器N1 基合金使用部位特別検査	ISTプログラムによる。 [別紙-4]
		2. 漏えい試験						
	クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	ISTプログラムによる。 [別紙-5]
		2. 漏えい試験						
	蒸気発生器管台 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む)	1. 非破壊試験	高	10Y	—	18回		ISTプログラムによる。 [別紙-1]
		2. 漏えい試験						
	重大事故等クラス1 機器	1. 非破壊試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-7] 24回定期事業者検査より設定
		2. 漏えい試験						
	重大事故等クラス2 機器	1. 非破壊試験	高	1F~10Y	○	—	重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-1] 24回定期事業者検査より設定
		2. 漏えい試験						
	重大事故等クラス3 機器	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	重大事故等クラス2 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-8]
		2. 漏えい試験				23回	重大事故等クラス2 機器供用期間中検査	
	クラス1配管特別検査	1. 非破壊試験	高	10Y	—	—	重大事故等クラス3 機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別紙-9] 22回施設定期検査より設定 一部先行実施
		2. 漏えい試験						
クラス3 機器、クラス4管、非気高及び安全上重要なダクト副圧部(クラス3機器 I S I は除く)	1. 非破壊試験	高	1F	○	—	供用期間中特別検査	ISTプログラムによる。 [別紙-10] 24回定期事業者検査より設定	
	2. 漏えい試験							
RCPのベント・ドレン弁の閉止程	1. 外観点検	高・低	5V~10Y	○	22回	構造健全性検査		
	2. 漏えい試験							
レストレイント	1. 外観点検	高	1F	○	23回	構造健全性検査	レストレイント検査	
	2. 漏えい試験		100%/10Y	—	16回			
原子力設備 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	22回	1次系安全弁検査		
	2. 分解点検		130M	○	23回	1次系逆止弁検査		
原子力設備 [その他設備] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	23回			
	2. 漏えい試験		12M~156M	○	23回			
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	23回	構造健全性検査	一部BMあり 一部先行実施	
	2. 漏えい試験							
その他AM (格納容器内注水) 機器	1. 分解点検他	高	52M~240M	—	22回			
	2. 漏えい試験							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
蒸気タービン 【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	高圧タービン	1. 開放点検 2. 組立状況点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M B 13M	○ ○ ○	22回 22回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 18の反映
	第1低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M X 13M	- ○ ○	23回 22回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 19の反映 保全の有効性評価結果No. 20の反映
	第2低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M X 13M	○ - ○	22回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 19の反映 保全の有効性評価結果No. 20の反映
ロータ 蒸気タービン本体及び附属設備	第3低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M X 13M	- ○ ○	23回 22回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No. 19の反映 保全の有効性評価結果No. 20の反映
	ロータ	1. 組立状況点検 1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高	B 1F 1F	○ ○ ○	23回 23回 23回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査 総合負荷性能検査	タービン開放点検に合わせて実施 一部定期事業者検査起動後 定期事業者検査起動後
	蒸気タービン	1. 開放点検 2. 組立状況点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M B 39M	○ ○ ○	21回 21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 【調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁】	# 1 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 3 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 4 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 1 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 2 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 3 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	# 4 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	39M B	○ ○	21回 21回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	A 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
	A 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査	
	A 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
	B 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
B 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
B 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査		
A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査		
B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査		
B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
調速装置 (非常調速装置)	1. 外観点検	高	1F	○	23回	蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
蒸気タービン [復水器]	復水、循環水系統	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機含む) 1. 開放点検	高	1F	○	23回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後
	復水器	2. 防汚塗装	高	13M	○	23回	蒸気タービン開放検査	
A 循環水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	26M	○	23回		
		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	20回		
B 循環水ポンプ・電動機		2. 簡易点検(薬油ユニット作動油清浄度管理)		13M	○	23回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	26M	○	22回		
A 復水器真空ポンプ・電動機		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	21回		
		2. 簡易点検(薬油ユニット作動油清浄度管理)		13M	○	23回		
B 復水器真空ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	23回		(振動診断：3M)
		1. 分解点検 (電動機)		CBM	—	20回		
C 復水器真空ポンプ・電動機		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	22回		(振動診断：3M)
A 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (電動機)		CBM	—	20回		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回		
B 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	21回		(振動診断：6M (対象：電動機)) 保全の有効性評価結果No.21の反映
		1. 分解点検 (電動機)		X	○	21回		
C 復水ポンプ・電動機		2. 簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	23回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	22回		(振動診断：6M (対象：電動機)) 保全の有効性評価結果No.21の反映
A 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (電動機)		X	—	17回		
		2. 簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	23回		
B 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	23回		(振動診断：6M (対象：電動機)) 保全の有効性評価結果No.21の反映
		1. 分解点検 (電動機)		X	—	23回		
C 復水ポンプ・電動機		2. 簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	23回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	23回		(振動診断：6M (対象：電動機)) 保全の有効性評価結果No.21の反映
蒸気タービン [復水器] その他機器	1式	1. 分解点検 (電動機)		X	—	23回		
		2. 簡易点検(ストレーナ清掃)		13M	○	23回		
		1. 分解点検他	高	78M~260M	○	23回		
		1. 分解点検他	低	13M~130M	○	23回		一部BMあり

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	A 蒸気タービン加熱器 胴側	1. 開放点検	高	26M	○	22回	蒸気タービン開放検査		
	A 蒸気タービン加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検	高	130M	-	18回	蒸気タービン開放検査		
		2. 非破壊試験		130M	-	18回			
	A 蒸気タービン加熱器 管側 (調速機側)	1. 開放点検	高	130M	-	20回	蒸気タービン開放検査		
		2. 非破壊試験		130M	-	20回			
	B 蒸気タービン加熱器 胴側	1. 開放点検	高	26M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 蒸気タービン加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検	高	130M	-	17回	蒸気タービン開放検査		
		2. 非破壊試験		130M	-	17回			
	B 蒸気タービン加熱器 管側 (調速機側)	1. 開放点検	高	130M	-	19回	蒸気タービン開放検査		
		2. 非破壊試験		130M	-	19回			
	A 脱酸素器		1. 開放点検	高	26M	○	22回	2次系容器検査	
	B 脱酸素器		1. 開放点検	高	26M	-	23回	2次系容器検査	
	脱酸素器タンク		1. 開放点検	高	39M	○	23回	2次系容器検査	保全の有効性評価結果No. 22の反映
	第 1 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	21回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	21回		
			3. 非破壊試験		130M	-	16回		
	第 1 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	22回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	22回		
			3. 非破壊試験		130M	-	17回		
	第 1 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	23回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	23回		
			3. 非破壊試験		130M	-	18回		
	第 2 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	21回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	21回		
			3. 非破壊試験		130M	-	16回		
	第 2 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	22回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	22回		
			3. 非破壊試験		130M	-	17回		
	第 2 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	23回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	23回		
			3. 非破壊試験		130M	-	18回		
	第 3 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	22回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	22回		
			3. 非破壊試験		130M	-	17回		
	第 3 B 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	-	23回	2次系熱交換器検査	
			2. 漏えい試験		B	-	23回		
		3. 非破壊試験		130M	-	18回			
第 3 C 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	○	19回	2次系熱交換器検査		
		2. 漏えい試験		B	○	19回			
		3. 非破壊試験		130M	-	19回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術
蒸気タービン 【蒸気タービンに付属する熱交換 器】	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	22回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	-	22回		
		3. 非破壊試験		130M	-	17回		
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	23回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	-	23回		
		3. 非破壊試験		130M	-	18回		
	第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	○	19回		
		3. 非破壊試験		130M	-	19回		
	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	-	19回		
		3. 非破壊試験		130M	-	16回		
	第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	-	19回		
		3. 非破壊試験		130M	-	17回		
	ブランド蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	-	22回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	-	22回		
		3. 非破壊試験		130M	-	17回		
蒸気タービン 【蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	給水、復水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	23回	蒸気タービン付属設備機能検査	定期事業者検査起動後
		1. 機能・性能試験 (ポンプ)		B	○	22回		
		1. 機能・性能試験 (駆動タービン)		B	○	22回	2次系ポンプ機能検査	
	Aタービン動主給水ポンプ	2. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	22回		保全の有効性評価結果No. 23の反映
		2. 分解点検 (駆動タービン)		26M	○	22回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)		13M	○	23回		
	Bタービン動主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	B	-	23回		
		1. 機能・性能試験 (駆動タービン)		B	-	23回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	-	23回		保全の有効性評価結果No. 23の反映
	電動主給水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (駆動タービン)	高	26M	-	23回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)		13M	○	23回		
		1. 分解点検 (ポンプ)		130M	-	20回		
Aタービン動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (電動機)	高	156M	-	23回			
	2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回			
	1. 分解点検		52M	○	20回			
Bタービン動主給水ブースタポンプ	2. 簡易点検 (ストレータ点検)	高	13M	○	23回			
	1. 分解点検		52M	-	23回			
電動主給水ブースタポンプ	2. 簡易点検 (ストレータ点検)	高	13M	○	23回			
	1. 分解点検 (ポンプ)		130M	-	21回			
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	13M	○	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備(診断技術)		
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	A 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	104M	—	22回		保全の有効性評価結果No. 214の反映		
		1. 分解点検 (電動機)		104M	—	23回				
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回				
		B 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	104M	—	23回			保全の有効性評価結果No. 214の反映
			1. 分解点検 (電動機)		104M	○	16回			
		C 復水ブースタポンプ・電動機	2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回			保全の有効性評価結果No. 214の反映
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	104M	—	23回			
		A 復水脱塩塔	1. 分解点検 (電動機)		104M	—	17回			
			2. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回			
		B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	21回		2次系容器検査	
			1. 開放点検	高	130M	—	22回		2次系容器検査	
		C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	23回		2次系容器検査	
			1. 開放点検	高	130M	○	14回		2次系容器検査	
		D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	15回		2次系容器検査	
			1. 開放点検	高	130M	—	15回			
E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	23回		部先行実施 保全の有効性評価結果No. 25, 26, 27, 28の反映			
	2. 簡易点検 (通気管金網清掃)		13M	○	23回					
復水タンク	1. 分解点検他	低	26M~260M	○	23回		一部BMあり 一部先行実施			
	1. 分解点検他		13M~260M	○	23回					
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	1式	1. 開放点検	高	13M	○	23回	蒸気タービン開放検査			
		2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	23回	蒸気タービン開放検査			
蒸気タービン [その他設備]	2次系配管他 (上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統) ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む (外観点検のみ)	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	23回	2次系配管検査	定期事業者検査起動後		
		2. 非破壊試験	高・低	肉厚管理指針による	○	23回	2次系配管検査			
		タービンバイパス弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	26M~52M	○	23回		タービンバイパス弁機能検査	
			2. 分解点検		26M~52M	○	23回			
			3. 簡易点検 (ブランドバンドキッキング特)		26M	○	23回			
		タービンバイパス弁駆動部	1. 分解点検	高	13M	○	23回			
			2. 簡易点検 (特性試験)		13M~26M	○	23回			
		蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回		1次系安全弁検査 2次系弁検査	
			2. 分解点検		104M~130M	○	23回		1次系逆止弁検査	
		蒸気タービン [その他設備] その他の弁 駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	—	20回		2次系弁検査	
			2. 分解点検		52M	—	20回		2次系弁検査	
			3. 簡易点検 (特性試験)		13M~52M	○	23回			
		蒸気タービン [その他設備] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	23回			一部先行実施
			1. 分解点検他	低	12M~260M	○	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1式	1. 外観点検	高	1F	○	23回			
	1式	1. 外観点検	高	10Y	-	-		20回施設定検時に設置	
	1式	1. 外観点検	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査検査停止中	
	1式	1. 特性試験	高	13M	○	-		計測制御系監視機能検査	
	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回		23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加	
	1式	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機を含む)	低	D※	-	23回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	2台	1. 分解点検 (ポンプ)	低	1Y	○	23回		(振動診断：1Y (対象：電動機)) プラント運転中又は定期事業者検査検査停止中	
	1式	1. 分解点検 (電動機)		CBM	-	-			
	1式	1. 分解点検他	高・低	13M~208M	○	23回			
	1式	1. 分解点検他	高	39M~156M	○	23回			
	1式	1. 分解点検他	高	52M~156M	○	21回		一部先行実施	
	1式	1. 分解点検他	高	26M~104M	○	23回		一部BMあり	
	1式	1. 分解点検他	低	13M~240M	○	23回			
	1式	1. 分解点検	低	260M	-	-		1次系弁検査	
	1式	1. 分解点検他	低	12M~13M	○	22回			
	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護施設]	45台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
	No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	○	23回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
	その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	Aディーゼル機関の吸気弁	1. 分解点検	高	26M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の吸気弁	1. 分解点検	高	26M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Aディーゼル機関の排気弁	1. 分解点検	高	26M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の排気弁	1. 分解点検	高	26M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	13M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	13M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	ディーゼル発電機付属設備	1. 外観点検 2. 非破壊試験 3. 機能・性能試験 4. 特性試験	高	1F 13M~78M 13M~130M 13M	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査		
	空冷式非常用発電装置	1. 機能・性能試験 2. 取替他 3. 発電機ベアリング交換	高	1F 130M 195M	○ — —	23回 — —	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	20回施設定期検時に設置 20回施設定期検査より追加	
	ガスタービン発電装置	1. 機能・性能試験 2. 開放点検 3. 外観点検 4. 簡略点検 (潤滑油入替他) 5. 細密点検 (発電機) 6. 燃料制御ユニット取替 7. 保護継電器点検 8. 計器用変換器取替	高	1F 234M 1F 13M~168M 104M 78M 65M 156M	○ — ○ ○ ○ — — —	23回 — — — — — — —	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査 その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査 その他非常用発電装置の付属設備検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加	
	可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	1. 機能・性能試験	高	1V	○	23回	可搬型代替電源設備検査		
	電源車	1. 機能・性能試験	高	1V	○	23回	可搬型代替電源設備検査		
	非常用電源設備 [非常用予備発電装置] その他機器	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高	13M~234M 13M~182M	○ ○	23回 23回	— —	— —	一部BMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備(診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	2組 (60個/組)	高	1F ○	○	23回	直流電源系機能検査	
				1F ○	○	23回	直流電源系系作動検査	
				2回/γ -	-	23回		
	直流電源装置蓄電池 (3系統日)	1組 (64個/組)	高	1F ○	○	-	直流電源系機能検査	23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加
	E-S 直流電源装置蓄電池	1組 (60個/組)	高	1F ○	○	-	直流電源系機能検査	23回定期事業者検査時に設置 24回定期事業者検査より追加
	計器用電源	4台	高	1F ○	○	-	直流電源系系作動検査	
				1F ○	○	23回	インバータ機能検査	
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)	2個	高	13M ○	○	23回		
				1F ○	○	23回		
	可搬式整流器	2個	高	1F ○	○	23回		
				1F ○	○	23回		
	非常用電源設備 [その他の電源装置] の他機器	1式	高	6M~180M ○	○	23回		
				180M -	-	22回		
	原子炉建屋	1式	高・低	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	外周建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	中間建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	原子炉補助建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取扱建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	制御建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	燃料取替用水タンク建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
ディーゼル発電機建屋	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
取水口設備	1式	高	1F ○	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)	1. 総合性能試験	高	1F ○	○	23回		総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後

クラス1機器供用期間中検査 供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査

1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)					備考		
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	2027年
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	第24保安 サイクル	-	第25保安 サイクル	第26保安 サイクル	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	可能範囲 100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B2.111	B-B	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	可能範囲 100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	可能範囲 100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	可能範囲 各100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B5.10	B-F	冷却材入口管台とヒーローエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	3	水中UT PT	可能範囲 各100%	-	-	-	-	B (PT) 100%	C (PT) 100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台とヒーローエンドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	3	水中UT PT	可能範囲 各100%	-	-	-	-	B (PT) 100%	C (PT) 100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	100%	-	-	14	-	15	14	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58	UT	100%	-	-	14	-	15	14	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58	UT	100%	-	-	20	-	19	19	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.50	B-G-1	ワッシャ	VT-1	100%	58	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	100%	-	-	14	-	15	14	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	VT-1	25%	3	VT-1 (漏えい時)	25%	-	-	1	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRI文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における故障を引き起こす電裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開合会「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる委員会」(令和元年6月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

1. 原子炉容器 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)							備考
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
発電用原子炉設備規格 維持規格(2.0.1.2年改版/2.0.1.3追補/2.0.1.4追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1															
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の 7.5%	1	VT-3	可能範囲 0.0% 各検査時期毎	-	第24保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の 7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の 7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
G1.50	G-P-2	炉心内部取付物	VT-3	全範囲の 7.5%	4	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-0	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		筒形構造物ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面	最外周20 (全52)	最外周の 2.5%	5	PT	最外周の 2.5%	-	-	-	-	5	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.10	B-P	筒形構造物ハウジングの溶接継手 (下部)	体積又は 表面	最外周23 (全55)	6	PT	最外周の 2.5%	-	2	-	2	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
F1.41	F-A	圧力保持範囲 支持構造物 (サブポートブラケット、サブポート 、チューブ、基礎ボルト)	VT-2 VT-3	可能範囲 100% 2.5%	- 6	VT-2 VT-3	可能範囲 100% 2.5%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) A出口 1 C出口 1

※1： NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電圧その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電致発第1906051号)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規格要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

2. 加圧器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)							備考			
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年				
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との間継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	第24保安サイクル	-	第25保安サイクル	-	第26保安サイクル	第27保安サイクル	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		下部胴と下部鏡板との間継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	-	-	-	A10%	-	-	-	B10%	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		下部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	-	-	-	-	A10%	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との間継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	2.5%	6	UT	2.5% 2	-	-	-	1 (サージ管台)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	2.5%	6	UT	2.5% 2	-	-	-	1 (サージ管台)	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)																
B5.40	B-F	加圧器逃がし弁管台			1			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		加圧器安全弁管台	体積及び表面	2.5%	3	UT PT	2.5% 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイ管台			1			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		加圧器サージ管台			1			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	2.5%	16	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	2.5% 4	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎ボルト)	VT-3	2.5%	1	VT-3	2.5% 1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1. NRA文書「実用原子力設備規格 維持規格(2012年改訂/2013追加/2014追加) JSME S NA1-2012/2013/2014※1」の修正版(以下、電気精製NVA文書改正という。)の施行及び公開台「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験履歴等)新制要件に関する事業者意見の聴取にかかる台」(令和元年6月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

3. 蒸気発生器 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版/2013追加/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査の方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査の方法	検査の範囲及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	1基の25%	3	UT	1基の25%	-	C9%	C8%	-	第26保安サイクル	第27保安サイクル	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の25%	6	UT	1基の25%	-	-	-	-	C1	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手、 冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手、 (呼び径100A以上)	体積及び表面	1基の25%	6	UT PT	1基の25%	-	-	B入口 1 (PT)	-	-	B入口 1 (UT) ※2	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B7.30	B-G-2	1次側マンホール取付けボルト	VT-1	1基の25%	96	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1基の25%	-	C入口 3	-	-	C入口 2	C入口 3	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベアスプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の25%	12	VT-3	1基の25%	-	-	-	-	C1	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「運用済原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解析」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解析NRA文書改正という。)の施行及び公開会社「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等」新規制要件に関する事業検査員の應取にかる会社」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格「JSME S NA1-2012/2013/2014」を適用する。

※2: 代替試験として内面EC Tを含むて実施

4. 配管 (1/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)					備考		
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	2027年
B7.50	B-g-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)	VT-1	2.5%	3	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	2.5%	-	-	-	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	-		
		1次冷却材管 (27.51NID, 86.00mm, 291NID, 311NID) A, B, Cグループ	体積	2.5%	4.0	UT	2.5%	-	-	-	A1 B1	B2	C3	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B8.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)													
		加圧器サージ管 (148, 355, 60mm)	体積	2.5%	7	UT	2.5%	-	-	1	1			-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器冷却水ライン (6B) A, B, Cライン	体積	2.5%	3.0	UT	2.5%	-	-	A1 C1	B1 C1	A1 C1		-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器冷却水ライン (6B)	体積	2.5%	1.2	UT	2.5%	-	-	1	1			-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイライン (48, 144, 30mm) A, Cグループ	体積	2.5%	4.9	UT	2.5%	-	-	A1 C2	A2 C1	A3 C2		-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) B, Cグループ	体積	2.5%	7.8	UT	2.5%	-	-	B4 C1	B3 C2	B3 C2		-	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイライン (4B)	体積	2.5%	1	UT	2.5%	-	-		1			-	
		SIS 蓄圧注入ライン (12B, 318, 50mm) A, B, Cグループ	体積	2.5%	3.2	UT	2.5%	-	-	A1 C1	A1 B1	B1 C1		-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		SIS 高速制御圧注入ライン (6B, 165, 20mm) A, Bグループ	体積	2.5%	2.7	UT	2.5%	-	-	A1 B1	A1	B2		-	
		SIS 低速制御圧注入ライン (6B, 165, 20mm) A, B, Cグループ	体積	2.5%	5.1	UT	2.5%	-	-	A1 B2	A1 C2	B2 C1	A1 C3		-
B8.21	B-J	SIS 高温制御圧注入ライン (4B, 6B) Cグループ	体積	2.5%	6	UT	2.5%	-	-	1	1			-	
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)													
		加圧器冷却水ライン (3B)	表面	2.5%	2.0	PT	2.5%	-	-	1	1	1		-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイライン (2B, 60, 50mm)	表面	2.5%	1.9	PT	2.5%	-	-	1	1	1	2		-
		余熱除去ポンプ入口ライン (17/4B) B, Cグループ	表面	2.5%	4	PT	2.5%	-	-	1			-	(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破壊その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、電裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意思の検取にかかる台台」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管 (2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)					備考		
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	2027年
89.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100未満)	表面	2.5%	6	PT	2.5% 2	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	-	
89.31	B-J	R.T.D.ウエル及び閉止分岐管 (3B) A. B. C.グループ	表面	2.5%	3.2	PT	2.5% 8	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	A1 C1	A1	-	C2	C3	-	
89.32	B-J	抽出・糸刺抽出及びドレンライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A. B. C.グループ	表面	2.5%	8	PT	2.5% 2	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス2機器)
								-	B1	-	-	A1	-	-	
89.32	B-J	C.V.C.充てんライン (3B, 89, 10mm) B.グループ	表面	2.5%	4	PT	2.5% 1	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	-	A1	-	-	-	-	
89.32	B-J	1次冷却材ポンプ射水注入ライン (1, 1/2B, 4B, 60mm) A. B. C.グループ	表面	2.5%	1.4	PT	2.5% 4	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	A1	A1	-	C1	B1	-	
89.32	B-J	S.I.S.高温側補助注入ライン (2B, 60, 50mm) A. B. C.グループ	表面	2.5%	1.0	PT	2.5% 3	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス1機器)
								-	A1	-	-	C1	B1	-	
89.32	B-J	S.I.S.低温側補助注入ライン (2B, 60, 50mm) A. B. C.グループ	表面	2.5%	1.8	PT	2.5% 5	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス2機器)
								-	A2	B1	-	C1	C1	-	
89.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100以上)	体積	2.5%	1.1	UT	2.5% 3	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
								-	A1	B1	-	-	C1	-	
89.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100未満)	表面	2.5%	1.7	PT	2.5% 5	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
								-	A1 B1	C1	-	B1	A1	-	
89.32	B-J	1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A. B. C.グループ	表面	2.5%	2	PT	2.5% 1	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	-	B1	-	-	-	-	
89.32	B-J	S.I.S.高温側低圧注入ライン (2B) A. B. C.グループ	表面	2.5%	6	PT	2.5% 2	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
								-	A1	-	-	-	B1	-	
89.32	B-J	S.I.S.低温側低圧注入ライン (2B) A. B. C.グループ	表面	2.5%	2	PT	2.5% 2	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
								-	-	C1	-	B1	-	-	
89.40	B-J	溶接継手	表面	2.5%	2	PT	1.0% 2	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス2機器)
								-	-	-	-	-	-	-	
89.40	B-J	ソケット溶接継手	表面	2.5%	1	PT	2.5% 1	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	1	-	-	-	-	-	
89.40	B-J	加圧器補助スプレイルイン (2B)	表面	2.5%	1	PT	2.5% 1	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
								-	-	-	-	-	-	-	

※1. NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす機器その他の施設の解体」(令和元年6月5日原簿登録第1000051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業意思の聴取にかかわる会合」(令和元年8月5日)の議事を踏まえ、維持規格 JSME S NA-2012/2013/2014を適用する。

※2. 簡易りん酸「新規制基準施行に伴うRCPB拡大範囲の検査方法の明確化について」に従い、1.0%とする。

4. 配置 (3/4)

発用原子力設備規格 維持規格(2012年版/2013追加/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年		
89.40	B-J	ソケット溶接継手															
		RTDウェル及び閉止分岐管 A. B. Cグループ	表面	25%	3	PT	25% 1	-	-	A1	-	-	A1	-	-		
		抽出・余剰抽出及びドレンライン (2B) A. B. Cグループ	表面	25%	6	PT	25% 2	-	-	A1	-	-	-	B1	-		
		1次発熱材ポンプ封水注入ライン (1/2B) A. B. Cグループ	表面	25%	51	PT	25% 13	-	-	B1 C2	A2 B1	-	-	B1 C2	-		
		SIS高温側補助注入ライン (2B) A. B. Cグループ	表面	25%	15	PT	25% 4	-	-	B1	A1	-	-	C1	A1	-	
		SIS低温側補助注入ライン (2B) A. B. Cグループ	表面	25%	3	PT	25% 1	-	-	A1	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器)	
		SIS低温側ほう露注入ライン (2B) A. B. Cグループ	表面	25%	3	PT	25% 1	-	-	-	B1	-	-	-	B1	-	
		配管の支持部材取付け溶接継手															
		B10.20	B-K	糸鋸除去ポンプ入口ライン B. Cグループ	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1	-	-	C1	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
					圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	-	可能範囲 100%	-
F1.10	F-A	支持構造物	表面	7.5%	2	PT	7.5% 1	-	-	C1	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
			圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	-	可能範囲 100%	-	(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器サージ管	VT-3	25%	9	VT-3	25% 3	-	-	1	-	-	-	2	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
			加圧器逃し弁ライン	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	-	-	2	-	-	1	1	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
			加圧器スプレイレイン A. Cグループ	VT-3	25%	62	VT-3	25% 16	-	-	1	A2	A3 C2	-	A2 C3	C4	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.50	B-P	糸鋸除去ポンプ入口ライン B. Cグループ	VT-3	25%	73	VT-3	25% 19	-	-	B3 C2	-	-	B2 C3	B2 C2	(重大事故等クラス2機器)		
			加圧器補助スプレイレイン	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	-	-	1	-	-	2	2	(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器補助スプレイレイン	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	-	-	1	-	-	2	2	(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「家用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電線その他のの解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電線解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新編制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改訂/2013追加/2014追加) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年			
F1.10	F-A	支持構造物																
		CVC3充てりライン Bループ	VT-3	25%	6	VT-3	25% 2	-	B1	-	B1	-	B1	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
		抽出・余剰抽出及びドレンライン A, B, Cループ	VT-3	25%	29	VT-3	25% 8	-	A1 B1	C2	-	-	A1 B1	C2	-	-		
		1次冷却材ポンプ封水注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	-	A1	A1 B1	-	-	B1	C1	-	-		
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	-	A1 B1	A1 C1	-	-	B2	C2	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側低圧注入ライン A, Bループ	VT-3	25%	18	VT-3	25% 5	-	A1 B1	-	-	-	-	A2	B1	-	-	
		SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%	29	VT-3	25% 8	-	A1 B1	A1 C1	-	-	-	A1	B1 C2	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側補助注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%	23	VT-3	25% 6	-	A1 B1	C1	-	-	-	B1 C1	C1	-	-	
		SIS低温側補助注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%	15	VT-3	25% 4	-	A1	A1	B1	-	-	C1	B1	-	-	(重大事故等クラス1機器)
		SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, Cループ	VT-3	25%	28	VT-3	25% 7	-	A1 B1	A1 B1 C1	-	-	-	A1 C1	B1 C1	-	-	(重大事故等クラス2機器)

※1 - NRA文書「発電用原子力設備規格及びその附属施設における破壊を引き起こす部品ごとの信頼性評価に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和5年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2 - NRA文書「発電用原子力設備規格(2012年改訂/2013追加/2014追加)の改正版(以下、発電用原子力設備規格NRA文書改正という。)の施行及び公開会合」(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に

5. 1次冷却材ポンプ (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)						備考
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
B6.180	B-6-1	スタッドボルト	体積	1台の25%	7.2	UT (差差時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	第24保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.190	B-6-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1	1台の25% 6	-	C6	-	-	-	-	ポンプ分房点検時に実施 (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B6.200	B-6-1	ナット	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	C6	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
		ワッシャ	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	C6	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3	1	-	C1	-	-	-	-	ポンプ分房点検時に実施 (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1	-	C1	-	-	-	-	(重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす電致その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電致発第NRA文書改正という。)の施行及び公開台「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格「SNE S NA1-2012/2013/2014」を適用する。

6. 弁 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)					備考		
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	2027年
B7.70	B-6-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下) 加圧器安全弁ライン A、B、Cライン 4W-RC-055 4W-RC-056 4W-RC-057 加圧器逃がし弁ライン 4W-RC-054A 4W-RC-054B 4W-RC-054C 4W-RC-054D 4P0V-455A 4P0V-455B 4P0V-454C 加圧器スプレイルライン 4P0V-454A 4P0V-454B 加圧器補助スプレイルライン 4V-CS-225 CVCS充てんライン Bグループ 4V-CS-233 4W-CS-234 抽出・弁利抽出及びトリレンライン A、B、Cグループ 4W-RC-019A 4W-RC-019B 4W-RC-019C 4W-RC-019D 4W-RC-017 4L0W-451 4L0W-452 熱除去ポンプ吸入ライン B、Cグループ 4P0V-420 4P0V-420 4W-RH-003A 4W-RH-003B SIS蒸圧注入ライン A、B、Cグループ 4W-SI-134A、136A 4W-SI-134B、136B 4W-SI-134C、136C SIS高温側低圧注入ライン A、Bグループ 4W-SI-208A、209A 4W-SI-208B、209B SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cグループ 4W-SI-202A、203A 4W-SI-202B、203B 4W-SI-202C、203C SIS高温側補助注入ライン Cグループ 4W-SI-088	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	24	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	(重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス1機器) (重大事故等クラス2機器)
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	30	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	18	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	16	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	6	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	20	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	24	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	10	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	12	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	36	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	36	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	96	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	56	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
			VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	84	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	14	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似弁ごとに1台の25%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす破損その他の欠陥の精査」(令和元年6月5日)原簿精査表「(原簿)原簿精査表1906051号」の改正版(以下、電線線形NRA文書改正という。)の施行及び公開台「(原簿)原簿精査表1906051号」の新規制要件に関する事業者意見の採取にかかると「(令和元年6月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

クラス2機器供用期間中検査

1. 余熱除去冷却器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	※1		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※2										備考
			検査方法及び程度	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
C1.10	C-A	管制胴と管制フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	第26保全サイクル	(重大事故等クラス2機器)
C1.20	C-A	管制線と管制胴との溶接継手	体積	1基の7.5%		A	A								(重大事故等クラス2機器)
C2.21	C-B	管制入口管台及び管制出口管台と管制胴との溶接継手	体積及び表面	7.5%				A1(入口)							(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の名称の罅」(令和元年6月5日原規持第1900051号)の改正版(以下、亀裂規程)を改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかける会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

2. 配管 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及びひび程度	設備数	検査方法及びひび程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2										備考				
							2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年	2025年 第26保全 サイクル						
03.20	C-C	配管の支持部材取付溶接継手																			
		余熱除去ポンプ入口ロライン (318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%	12	PT	7.5% ₁		A1											(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出口ロライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7.5%	3	PT	7.5% ₁		A1												(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) Aライン	表面	7.5%	3	PT	7.5% ₁			A1											
		SIS低温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7.5%	9	PT	7.5% ₁				C1										(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側補助注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	15	PT	7.5% ₂			C1						共通1					
		SIS低温側補助注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	4	PT	7.5% ₁									C1					
		補助注入ライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7.5%	5	PT	7.5% ₁														
		SIS低温側ほう酸注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, 共通ライン	表面	7.5%	5	PT	7.5% ₁														(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ入口ロライン (216, 30mm)	表面	7.5%	3	PT	7.5% ₁														(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7.5%	3	PT	7.5% ₁														(重大事故等クラス2機器)
		1次冷却材管高温側高圧注入ライン (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% ₁														
		1次冷却材管低温側高圧注入ライン (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% ₁														
		ほう酸注入タンク入口ロ側 (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% ₁														
		ほう酸注入タンク出口ロ側 (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% ₁														
格納容器再循環ポンプ出口ロライン (355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%	8	PT	7.5% ₁													A1		(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「運用費用原子炉及びその附属施設における故障を引き起こす亀裂その他の欠陥の検知」(令和元年6月5日原規持第1900051号)の改正版(以下、亀裂検知規定改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S-NMI-2012/2013/2014を適用する。

※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

2. 配管 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2										備考													
			検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年	2023年	2024年	2025年									
05.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								体積又は表面	7.5%	6.9	体積又は表面	7.5%	6.9	体積又は表面	7.5%	6.9		体積又は表面	7.5%	6.9	体積又は表面	7.5%	6.9	体積又は表面	7.5%	6.9
								体積及び表面	7.5%	1.9	体積及び表面	7.5%	1.9	体積及び表面	7.5%	1.9		体積及び表面	7.5%	1.9	体積及び表面	7.5%	1.9	体積及び表面	7.5%	1.9
								体積及び表面	7.5%	5.7	体積及び表面	7.5%	5.7	体積及び表面	7.5%	5.7		体積及び表面	7.5%	5.7	体積及び表面	7.5%	5.7	体積及び表面	7.5%	5.7
								体積又は表面	7.5%	2.3	体積又は表面	7.5%	2.3	体積又は表面	7.5%	2.3		体積又は表面	7.5%	2.3	体積又は表面	7.5%	2.3	体積又は表面	7.5%	2.3
								表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08		表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08
								表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2		表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2
								表面	7.5%	3.3	表面	7.5%	3.3	表面	7.5%	3.3		表面	7.5%	3.3	表面	7.5%	3.3	表面	7.5%	3.3
								表面	7.5%	5.5	表面	7.5%	5.5	表面	7.5%	5.5		表面	7.5%	5.5	表面	7.5%	5.5	表面	7.5%	5.5
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08		表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08	表面	7.5%	1.08
								表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2		表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2	表面	7.5%	5.2
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								表面	7.5%	1.8	表面	7.5%	1.8	表面	7.5%	1.8		表面	7.5%	1.8	表面	7.5%	1.8	表面	7.5%	1.8
								表面	7.5%	9	表面	7.5%	9	表面	7.5%	9		表面	7.5%	9	表面	7.5%	9	表面	7.5%	9
		配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手)	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	2021年	第24保全サイクル	第25保全サイクル	2024年	2025年										
								表面	7.5%	9	表面	7.5%	9	表面	7.5%	9		表面	7.5%	9	表面	7.5%	9	表面	7.5%	9
								表面	7.5%	9	表面	7.5%	9	表面	7.5%	9		表面	7.5%	9	表面	7.5%	9	表面	7.5%	9

※1: NRA文書「雇用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原規持第19000051号)の改正版(以下「亀裂検出規程」)の施行及び公開合会「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規動条件に関する事業者意見の聴取にかかるとの合会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S-NMI-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のI4-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

2. 配管（3／3）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第4号機検査計画（10カ年）※2										備考	
								2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年			
F1.21	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	49	VT-3	7.5%	第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					
								第20保全サイクル	第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル					

※1： NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」（令和元年8月5日）の結果（令和元年8月5日）の概要（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSNE S NA1-2012/2013/2014 を適用する。
 ※2： 前検査間隔を維持規格2008年版の IA-2310(2) を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

3. 余熱除去ポンプ (1/1)

		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年) ※2											備 考					
		発 電 用 原 子 力 設 備 規 格 維 持 規 格 (2008年版) JSME S NA1-2008※1																
項目 番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	検査の範囲 及び程度	2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年 -	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年 -	2025年 第26保全 サイクル	
06.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5%	1台の7.5%		A 1			-			-		(重大事故等クラス2機器)
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T-3	1台の7.5%	4	V T-3	1台の7.5%	1台の7.5%				A 1	-			-		(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破壊その他の火災の降叙」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電設規格NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和五年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

4. 弁 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2										備考							
								2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年									
F1.43	F-A	支持構造物																							
		余熱除去ポンプ入口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%		4V-RH-041A 1														(重大事故等クラス2機器)		
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%			4V-RH-024A 1														(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%				4PCV-601 4PCV-611													(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%					4HCV-603 4HCV-613					4HCV-603 1							(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%					4FCV-604 4FCV-614					4FCV-614 1							(重大事故等クラス2機器)	
		SIS低温側低圧注入ライン A、Cライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%					4V-SI-197A 4V-SI-197B													(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側補助注入ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	8	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%																		
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 4V-SI-023A 4V-SI-023B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%											4V-SI-023A 1							(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年8月5日)の経歴(2019年度中の計画変更)。(令和元年8月5日)原簿第1900051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新補修要件」に関する事業者委員の協議にかかるとの旨(令和元年8月5日)の経歴(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査 (1/7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画(10カ年)※2										備考 (漏えい区分)				
				運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年	2025年		
		化学体積制御系統																
G7.10 G7.30 G7.70	O-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	0.11	VT-2													※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-1)
G7.30 G7.50 G7.70	O-H	B-1充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	VT-2			○										(3-3)
G7.10 G7.30 G7.70	O-H	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	VT-2			○										(3-5)
G7.10 G7.30 G7.70	O-H	抽出ライン(2)	VT-2	2.16	VT-2			○										(3-6)
G7.10 G7.30 G7.70	O-H	体積制御タンク入口ロライン	VT-2	0.19	VT-2			○										(3-8)
G7.30 G7.50 G7.70	O-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り			○										(3-9)
G7.10 G7.30 G7.70	O-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.71	VT-2										○			(3-10)

※1 : NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす構造その他の次臨の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解新NRA文書改正という。)の施行及び公開命令「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意思の聴取にかかる命令」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2 : 前検査間隔を維持規格2009年版の[A-2310(2)]を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査 (2/7)

項目番号		カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年) ※2					備 考 (漏えい区分)			
								2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年 -	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年 -	2025年 第26保全 サイクル
			余熱除去系統													
G7.30 G7.50 G7.70		C-H	A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2					-		○	-	(3-11)
			B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2				○	-			-	(3-12)
G7.10 G7.30 G7.50 G7.70		C-H	B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2			○		-			-	(3-14)
			燃料取替用水系統									-			-	
G7.30 G7.70		C-H	燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2			○		-			-	(3-15)
			燃料取替用水タンク原子炉キヤビティ連絡ライン(PEN#222)	VT-2	0.14	0.14	VT-2		○			-			-	(3-41)
			安全注入系統									-			-	
G7.10 G7.30 G7.70		C-H	蓄圧タンク及びび出入ロライン	VT-2	4.22	4.22	VT-2			○		-			-	※1-一部又は全前を気圧により検査 (3-16)
			ほう酸注入タンク及びび出入ロライン	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○		-			-	(3-17)
			蓄圧タンク注入ライン(PEN#216)	VT-2	4.40	4.40	VT-2					-			-	(3-43)
G7.30 G7.70		C-H	蓄圧タンクアストライン(PEN#227)	VT-2	6.90	6.90	VT-2					-			-	(3-44)
			弁てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○		-			-	(3-19)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる委員会」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2009年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(3/7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※1										備考 (漏えい区分)	
							2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年	2025年			
		安全注入系統																
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○									(3-21)
		格納容器再循環サブ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2						○						(3-22)
		格納容器スプレイ系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク及び出入ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2			○									※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-23)
C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク出ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2				○								(3-88)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2								○				(3-24)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2									○			(3-25)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2									○			(3-26)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2									○			(3-27)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2			○									(3-28)
		格納容器再循環サブ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2								○				(3-29)

※1: MRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす脅威その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、電裂検察MRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(4/7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画(10カ年)※2										備考 (漏えい区分)				
				運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年 第24保全 サイクル	2022年 第25保全 サイクル	2023年 第26保全 サイクル		2024年	2025年		
		主給水系統																
G7.10 G7.30 G7.70	O-H	A-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	VT-2													(3-30)
		主蒸気系統																
G7.30 G7.70	O-H	A-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	VT-2													(3-33)
		1次系補給水系統																
G7.30 G7.70	O-H	加圧器速がしタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	VT-2													(3-38)
		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	VT-2													(3-56)
		廃棄物処理系統																
		蓄圧タンク窒素充填ライン(PEN#218)	VT-2	4.40	VT-2													※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-42)
G7.30 G7.70	O-H	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン(PEN#225)	VT-2	0.70	VT-2													(3-86)
		格納容器サンポンプ出口ライン(PEN#234)	VT-2	0.15	VT-2													(3-87)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす種別その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開奉令「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意思の醸成にかかる奉令」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(5/7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※2										備考 (漏えい区分)						
				運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年	2025年				
		蒸気発生器ブローダウンシステム																		
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2												(3-45-1)		
		B-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#318)	VT-2	4.80	4.80	VT-2													(3-45-2)	
		C-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2													(3-45-3)	
		試料採取システム																		
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2													(3-46-1)	
		B-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2													(3-46-2)	
		C-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2													(3-46-3)	
		加圧器気相部サンプリングライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2														(3-67)
		加圧器液相部・Bループ高温側サンプリングライン(PEN#231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2														(3-68)
		Aループ高温側サンプリングライン(PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2													(3-69)	
		蓄圧タンクサンプリングライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2													(3-70)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906057号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(6/7)		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※2											備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※2										備考 (漏えい区分)
							2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
		原子炉補機冷却水系統					第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル				
		CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン(PEN#313)	VT-2	0.60	0.60	VT-2									(3-63)		
		CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン(PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2									(3-64)		
		RCP冷却水入ロライン(PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2		○							(3-65)		
		RCP冷却水出ロライン(PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2		○							(3-66)		
		A・B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#255)	VT-2	0.60	0.60	VT-2			○						(3-57)		
		A-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2			○						(3-59)		
		B-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2		○							(3-60)		
		C-D-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#229)	VT-2	0.60	0.60	VT-2		○							(3-58)		
		C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2		○							(3-61)		
		D-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							○		(3-62)		
		DRP1室冷却ユニット冷却水入ロライン(PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2							○		(3-93)		
		DRP1室冷却ユニット冷却水出ロライン(PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2		○							(3-94)		

※1. NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事象その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解断)文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2. 前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(7/7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年) ※2										備 考 (漏えい区分)	
							2017年 第20保全 サイクル	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル	2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年	2025年 第26保全 サイクル			
		空気系統																
G7.30 G7.70	C-H	制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2												※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-79)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2												※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-80)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	0.68	0.68	VT-2			○									※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-81)
		所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2			○									※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-82)
		消火水系統																
G7.30 G7.70	C-H	消火水ライン(PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2				○								(3-83)
		炭酸ガス系統																
G7.30 G7.70	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2												※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-91)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

※2: 前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

検査間隔延長プログラム

1. 配管 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	
F1.21	F-A	支持構造物																	
		SIS高温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	107	VT-3	7.5%	-	A1 B1	-	C2	-	共通1	-	共通1	共通1	C3 共通1		
		SIS低温側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	49	VT-3	7.5%	-	A1	-	共通1	-	C1	-	共通1	-	共通1		
		SIS低温側まほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	47	VT-3	7.5%	-	A1	-	-	C1	-	共通1	-	共通1			(重大事故等クラス2機器)

※1. NRA文書「要用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

2. 弁 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	
F1.43	F-A	支持構造物 S I S高温側低圧注入ライン 4V-SI-206 S I S低温側補助注入ライン 4V-SI-094 4V-SI-302 S I S低温側ほう酸注入ライン 4V-SI-042A 4V-SI-042B	VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5%	1 4 4	VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5%	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	(重大事故等クラス2機器) 〔原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等〕
								-	第24保全サイクル	-	-	第26保全サイクル	第27保全サイクル	-	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	
								-	第25保全サイクル	-	-	第26保全サイクル	第27保全サイクル	-	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	
								-	第24保全サイクル	-	-	第26保全サイクル	第27保全サイクル	-	第28保全サイクル	第29保全サイクル	第30保全サイクル	

※1・NRA文書「要used電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

3. クラス2機器漏えい検査 (1/2)		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)											備考 (漏えい区分)					
発電用原子力設備規格 維持規格 (2012年改版/2013追加/2014追加) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		検査方法																
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		
		化学体積制御系統					-	第24保全 サイクル										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-				○		-					(3-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-						-	○				(3-4)
C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン(3)	VT-2	0.40	0.40	VT-2	-				○		-					(3-31)
		封水戻りライン(PEN#217)	VT-2	0.10	0.10	VT-2	-				○		-					(3-39)
		余熱除去系統																
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2	-					○	-					(3-13)
		安全注入系統																
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-						-		○			(3-18)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開適合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる答台」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

検査間隔延長プログラム

3. クラス2機器漏えい検査 (2/2)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (1 0 カ 年)										備 考 (漏えい区分)		
							2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年			
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統																	
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-	-	第24保全 サイクル	-	第25保全 サイクル	-	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	-	第28保全 サイクル	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	
		主給水系統																	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	B-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-			-		第24保全 サイクル	-	第26保全 サイクル	-	-	-	-	(3-31)
		C-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-			-		-		O	-	-	-	-	(3-32)
		主蒸気系統																	
C7.30 C7.70	C-H	B-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-			-		-		O	-	-	-	-	(3-34)
		C-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-			-		-		O	-	-	-	-	(3-35)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる報告」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規程 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

クラス3 機器供用期間中検査

1. 余熱除去冷却器(同側) (1/1)

		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)											備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1																	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% I		第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I		A1			A1			-		
※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす起壊その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA 文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。																	

2. 格納容器スプレイ冷却器 (同側) (1/1)

		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)											備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1																	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% I		第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I					A1	A1		-		
※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす起壊その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA 文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。																	

3.原子炉補機冷却水冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1)		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	8	VT-3 ※2	1基の7.5% I		第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル		
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	8	VT-3	1基の7.5% I					A1			-				

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件」に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2:第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

4.非常用ディーゼル発電機清水冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1)		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2014年	2015年	2016年	2017年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% I		第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル		
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I						A1		-				

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損を引き起こす破損その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。
 ※2:第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

5. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)							備考			
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年
								第20保全サイクル										
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3 ※2	1基の7.5%	4	VT-3 ※2	1基の7.5% 1											
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% 1											

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、V1-3はVT-1と読み替える。

6. 配管 (1/1)

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)							備考			
								2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年
								第20保全サイクル										
D1.20	D-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3 ※2	7.5%	76	VT-3 ※2	7.5% 6											
		配管の支持部材取付け溶接継手																
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3 ※2	7.5%	30	VT-3 ※2	7.5% 3											
F1.31	F-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	430	VT-3	7.5% 33											
		支持構造物																
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	251	VT-3	7.5% 19											

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす破損その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: 第23保全サイクルより維持維持 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

7. 原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

項目番号		カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)							備考			
F1.31		F-A	ポンプ台板脚	VT-3	1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5%	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
				VT-3	1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5%		第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

8. 弁 (1/1)

項目番号		カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)							備考			
F1.31		F-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
			支持構造物							第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	
			原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%					4TCV-2342A 2342A 1			-			
			原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%								-	4V-CC-043 043 1		

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
 ※2: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

9. クラス3 機器漏えい検査 (1/2)

項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査 方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査 方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)
							2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
		使用済燃料ピット冷却浄化 ・燃料検査ピット水移送系統					第20保全 サイクル								第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	
D2.30	D-B	使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2	0.10	0.10	VT-2		○									(4-1)
		A-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2		○									(4-2)
D2.10 D2.30	D-B	B-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2		○									(4-3)
		原子炉補機冷却水系統															
		A, B, C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2		○									(4-4)
		D, E-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2					○						(4-5)
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2					○						(4-6)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2						○					(4-7)
		原子炉補機冷却海水系統															
		A-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2						○					(4-8)
D2.10 D2.30	D-B	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2							○				(4-9)
		C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2								○			(4-10)

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解析」(令和元年6月5日原規技案第1906051号)の改正版(以下、亀裂解析NRA文書改正という。)の施行及び公開会合(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

9. クラス3 機器漏えい検査 (2/2)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)		
							2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			
		制御用空気系統					第20保全 サイクル												
		A-格 納容器内制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2									○				(4-11)
		B-格 納容器内制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2											○		(4-12)
		A-格 納容器外制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2											○		(4-13)
		B-格 納容器外制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2											○		(4-14)
		ディーゼル発電機始動用空気系統																	
		A-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2											○		(4-15)
		B-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2												○	(4-16)

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他のの解釈」(令和元年6月5日原規技策第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査

1. 原子炉容器 (1/1)

NRA文書※1,※2		高浜発電所第4号機検査計画 (7ヵ年)										備考	
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
—	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)	BMV	100%	50	BMV	100% 50	—	第24保全サイクル	第25保全サイクル	—	第26保全サイクル	第27保全サイクル	—
—	底部表面 (計測用管台)	BMV	100%	50	BMV	100% 50	—	50	—	—	—	50	—

※1: 「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。.)の施行及び公開会合
 1 (原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとる旨(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査

項目番号	カテゴリ	NISA文書※1※2 高圧発電所第4号機検査計画(10か年)														備考									
		検査対象箇所	検査方法及び程度	設備数	検査方法及び程度	検査方法及び程度	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
-	-	配管の耐圧部分の溶接継手																							
		抽出水ライン(3B)	体積	25%	19	UT	25% 5	1																	
		充てんライン(3B)	体積	25%	54	UT	25% 14	3																	
		再生熱交換器連絡管(3B)	体積	25%	12	UT	25% 3		1																
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12	UT	25% 3																		
		充てんライン連絡管	体積	25%	12	UT	25% 3																		

※1:平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の発現(令和元年6月5日原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))を適用する。
 ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の発現」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂発現NRA文書改正という。)の施行及び公開会合(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合(令和元年8月5日)の結果(2010年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより亀裂発現NRA文書改正を適用する。

原子炉格納容器供用期間中検査

1. 原子炉格納容器(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査の範囲及び程度		検査方法	設備数	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考		
			検査の範囲及び程度	検査方法				2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年			
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締め付け部	25%	VT-4	VT-4	72	25% 18	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	第26保全サイクル	第27保全サイクル	第28保全サイクル	-	-	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)、の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (1/2)

発用原子炉設備規格 維持規格(2012年版/2013追加/2014追加) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高圧発電所第4号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積	クラス1機器供用期間中検査で管理
		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	
B2.111	B-B	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	
B3.10	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	
		冷却材入口管台内面の丸み部分	体積	
B3.20	B-D	冷却材出口管台内面の丸み部分	体積	
		冷却材入口管台とサーフェンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面	
B5.10	B-F	冷却材出口管台とサーフェンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	
B6.50	B-G-1	ワッシャ	VT-1	
B7.10	B-G-2	マーマンカンフリング	VT-1	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電気その他の設備の降解」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電気設備NRA文書改正という。.)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の取扱い等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかると」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器（2/2）

発電用原子炉設備規格 維持規格(2012年改版/2013追加/2014追加) JSME S MA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	クラス1機器供用期間中検査で管理
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	
G1.50	G-P-2	炉心内部取付物	VT-3	
		上部炉心支持構造物	VT-3	
B14.10	B-0	下部炉心支持構造物	VT-3	
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面 2.5%	
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	
F1.41	F-A	支持構造物 (サブポートブラケット、サブポート シュユ、基礎ポルト)	VT-3	

※1 - NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の発見」（令和元年6月5日原規発第1906051号）の改正版（以下、亀裂発見NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果を踏まえ、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

2. 加圧器 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S WA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との間継手	体積	5%
		下部胴と下部鏡板との間継手	体積	5%
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%
		下部胴の長手継手	体積	各10%
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との間継手	体積	5%
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	2.5%
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	2.5%
B5.40	B-F	管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)		
		加圧器逃がし弁管台		
		加圧器安全弁管台	体積及び表面	2.5%
		加圧器スブレイ管台		
		加圧器サージ管台		
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	2.5%
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカーポート溶接継手)	表面	7.5%
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物(スカーポート、基礎ボルト)	VT-3	2.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電裂その他の欠陥の探検」(令和元年6月5日原研発表第1906051号)の改正版(以下、亀裂探検NVA文書改正という。)の施行及び公開台合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる台合」(令和元年6月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S WA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

3. 蒸気発生器（1/1.1）

発用原子力設備規格 維持規格（2012年改訂/2013追加/2014追補） JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画（7カ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積 1基の25%	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積 1基の25%	
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手、 冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手、 （呼び径100A以上）	体積及び表面 1基の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1 1基の25%	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲100%	
F1.41	F-A	支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト）	VT-3 1基の25%	

※1：MRA文書「実用蒸気発生器及びその附属施設における破壊を引き起こす電致その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原研技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈MRA文書改正という。）の施行及び公開公告「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新頒布案件に関する事業者意見の照取にかかる公告」（令和元年8月5日）の延長を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

※2：代替試験として内面ECTを合わせて実施

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所 第4号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)		クラス1機器供用期間中検査で管理
		1次冷却材管 (27.5INID, 836.00mm, 29INID, 311INID) A, B, Cグループ	体積 2.5%	
		加圧器サージ管 (148, 355, 60mm)	体積 2.5%	
		加圧器逃がし弁ライン (6B)	体積 2.5%	
		SIS補圧注入ライン (12B, 318, 50mm) A, B, Cグループ	体積 2.5%	
B9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)		クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器逃がし弁ライン (3B)	表面 2.5%	
B9.31	B-J	SIS低温側補助注入ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cグループ	表面 2.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)		
B9.32	B-J	1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cグループ	体積 2.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)		
B9.32	B-J	1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A, B, Cグループ	表面 2.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		SIS低温側低圧注入ライン (2B) A, B, Cグループ	表面 2.5%	

※1: NRA文書「家用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす電送その他の文書の確認」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電送解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開命令「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験種別等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる命令」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配管（2／3）

発用原子力設備規格 維持規格（2012年改版／2013追補／2014追補） JSME S WA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画（7カ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B9.40	B-J	ソケット溶接継手		
		SIS低溫側補助注入ライン (2B) A, B, Cグループ	表面	25%
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F1.10	F-A	支持構造物		
		加圧器サージ管	VT-3	25%
		加圧器遊がし弁ライン	VT-3	25%
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%
		SIS低溫側補助注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす破断その他の破断」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改訂版(以下、亀裂解析NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかゝる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S WA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画（クラス1 機器供用期間中検査範囲）

1. 配管（3/3）

検査対象箇所		高浜発電所第4号機検査計画（7カ年）										備考	
項目番号	カテゴリ	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 （呼び径100A以上） SIS低圧側低圧注入ライン（6B） A、B、Cグループ	2.5%	4.8	UT	2.5% 1.2	-	A1 B2	A1 C2	-	B2 C1	第27係全 サイクル	-

※1：NPA文書「原子力発電用配管の検査」(令和元年8月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂検報NPA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

5. 1 検査起程ポンプ (1/1.1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)	備考
発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版/2013追補/2014追補) JSME S MA1-2012/2013/2014※1						
B6.180	B-6-1	スタッドボルト	体積	1台の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B6.190	B-6-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%		
B6.200	B-6-1	ナット	VT-1	1台の25%		
		ワッシャ	VT-1	1台の25%		
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1		
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%		
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1台の25%		

※1 - NRA文書「専用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を可容認と見做す検査規程」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新検出要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの会合」(令和元年8月6日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

6. 井 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)		
		加圧器逃がし弁ライン 4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C 4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	VT-1	類似品ごとに1台の25%
B12.50	B-W-2	SIS蓄圧注入ライン A, B, Cルーブ4V-SI-134A, 136A 4V-SI-134B, 136B 4V-SI-134C, 136C	VT-1	類似品ごとに1台の25%
		SIS低温側圧注入ライン A, B, Cルーブ4V-SI-202A, 203A 4V-SI-202B, 203B 4V-SI-202C, 203C	VT-1	類似品ごとに1台の25%
B15.70	B-P	弁本体の内表面		
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cルーブ 4V-SI-134A, 136A 4V-SI-134B, 136B 4V-SI-134C, 136C	VT-3	類似品ごとに1
F1.41	F-A	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%
		支持構造物		
F1.41	F-A	加圧器逃がし弁ライン 4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C 4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	VT-3	類似品ごとに1台の25%
			VT-3	類似品ごとに1台の25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破綻を引起こす電裂その他の欠陥の発現」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電裂発現NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和五年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

6. 并 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2012年改訂版/2013追補/2014追補) JSME S NA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画 (7ヵ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年
B7.70	B-g-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)						-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	-
		SIS低溫側低圧注入ライン A, B, Cグループ 4V-SI-203A 4V-SI-203B 4V-SI-203C	VT-1	類似非ごとに 1台の25%	42	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似非ごとに 1台分 14	-		4V-SI-203C 14				
B12.50	B-m-2	弁本体の内表面												
		SIS低溫側低圧注入ライン A, B, Cグループ 4V-SI-203A 4V-SI-203B 4V-SI-203C	VT-3	類似非ごとに 1	3	VT-3	類似非ごとに 1	-					4V-SI-203A	

※1: NRA文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす破断その他の文書の構築」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、電報線NRA文書改正という。)の施行及び公開会「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画(クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲)

原子炉容器（1/1.1）

NRA文書※1 ※2		高圧発電所第4号機検査計画		備考
事項 番号	検査対象箇所	検査 方法	検査の範囲 及び程度	
—	600系Ni基金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。) 底部表面(計測用管台)	BMV	100%/5年	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破綻を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原研技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破綻を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画

1. 配置 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10年)										備考				
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年					
C 3.20	C-C	配管の支持部特取付け溶接継手 炉心注入5リットル(水源)リッチ 代替注水ボックﾞ出口(6B)	表面	7.5%	7	PT	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			表面	7.5%	1	PT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			表面	7.5%	4	PT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C 5.11	C-F	代替炉心注入・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ(6B) 配管の前圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超える公称肉厚9.5mmを超えるもの)	表面	7.5%	32	PT	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			体積及び表面	7.5%	87	UT PT	7.5%	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			体積及び表面	7.5%	29	UT PT	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C 5.21	C-F	代替炉心注入・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ(6B) 配管の前圧部分の溶接継手 (呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)	体積及び表面	7.5%	102	UT PT	7.5%	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			体積及び表面	7.5%	109	UT PT	7.5%	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			表面	7.5%	31	PT	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F1.21	F-A	支持構造物 炉心注入5リットル(水源)リッチ 代替注水ボックﾞ出口(4B、6B)	VT-3	7.5%	77	VT-3	7.5%	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			VT-3	7.5%	21	VT-3	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			VT-3	7.5%	70	VT-3	7.5%	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		代替炉心注入・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ(6B) 炉心注入5リットル(一次系建屋)(3B、6B)	VT-3	7.5%	168	VT-3	7.5%	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			VT-3	7.5%	12	VT-3	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			VT-3	7.5%	25	VT-3	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		7リットルｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ(よう素)入口(10B、18B、24B) 7リットルｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ(よう素)出口(18B、24B)	VT-3	7.5%	14	VT-3	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			VT-3	7.5%	14	VT-3	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			VT-3	7.5%	14	VT-3	7.5%	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1：NRA文書「運用供用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす高放射その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原規技発第1006051号)の改正版(以下、高放射線NRA文書改正という。)の施行及び公開命令(原子炉圧力容器の溶接継手の試験制度等)新規制要件に関する事業者意見の陳述にかかる命令(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス1機器供用期間中検査計画
2. 表 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
								2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年				
F1.43	F-A	支持構造物 炉心注入バルブ(強制リフ 代替注水バルブ)出口 4W-ES-143 炉心注入バルブ(一次系連通) 4W-ES-164	VT-3	類似ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似ごとに1台の7.5%	-	-	-	第24回全サイクル	第25回全サイクル	-	-	第26回全サイクル	第27回全サイクル	-	第28回全サイクル	第29回全サイクル	第30回全サイクル	
			VT-3	類似ごとに1台の7.5%	2	VT-3	類似ごとに1台の7.5%	-	-	-	4W-ES-143 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			VT-3	類似ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似ごとに1台の7.5%	-	-	-	-	4W-FV-001 1	-	-	-	-	-	-	4W-ES-164 1	-	-

※1: NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における検査を引き起こす電致その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原規技発第100051号)の改正版(以下、経歴検察)A文書改正という。)の発行及び公開を含む(原子炉圧力容器の溶接接手の試験履歴等)新規制要件に関する事業者意見の取扱いにかかる場合(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
<p>発電用原子力設備規格 維持要件(2012年改定版/2013追加/2014追加) JSME S MAI-2012/2013/2014※1</p>					
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積	可能範囲 各100%	<p>高浜発電所第4号機検査計画</p> <p>クラス1 機器供用期間中検査で管理</p>
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	可能範囲 100%	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	可能範囲 100%	
B3.105	B-C	トランジションリングと下部胴との周溶接継手	体積	可能範囲 100%	
		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	可能範囲 各100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフメントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台とセーフメントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	
B6.10	B-G-1	ナット	V T-1	100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジのネジ脚	体積	100%	
B6.50	B-G-1	ワッシャー	V T-1	100%	
B7.10	B-G-2	マーカンカップリング	V T-1	25%	

※1: MAI文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における検査を引越す電装その火種の解説」(令和元年6月5日原研技発第1006051号)の改正版(以下、電装解説NRA文書改正という。)の発行及び公開委員会「(原子炉正力設備の試験程度等)新増設案件に関する事業者意見の聴取にかかる委員会」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (2/2)

検査用原子炉設備規格 維持規格(2012年改訂/2013 改訂/2014 改訂) JSME S MAI-2012/2013/2014※1		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3 全範囲の 7.5% 各検査片毎 又は 全範囲の 7.5%	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3 全範囲の 7.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3 全範囲の 7.5%	
		炉心内部取付物	VT-3 全範囲の 7.5%	
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3 全範囲の 7.5%	
		下部炉心支持構造物	VT-3 全範囲の 7.5%	
B14.10	B-0	制御機駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面	
		制御機駆動ハウジングの溶接継手 (下部)		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 又はサポーター、サブポート シム、基礎バルト シム	VT-3 2.5%	

※1: NIA文書(運用計画用原子炉及びその附属施設)における検査を引継ぎする検査その他の欠陥の排除(令和元年6月5日原燃技発第00051号)の改正版(以下、電気検察隊文書改正という。)の施行及び公開会社(原子炉圧力容器の溶接片の試験程度等)新規制案州に関する事業者の通知にかかる会社(令和元年8月5日)の
結果を踏まえ、維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014 を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器 (1/1.1)

検査用原子力設備規格 維持規格(2012年改訂/2013準拠/2014追補) JSME S NMI-2012/2013/2014※1		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲及び程度	
B2.11	B-B	上部胴と上部継ぎとの間継手 下部胴と下部継ぎとの間継手	体積 5% 体積 5%	
B2.12	B-B	上部胴の長手継手 下部胴の長手継手	体積 各10% 体積 各10%	
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との間継手	体積 5%	
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積 2.5%	
B3.40	B-D	管台内面のきみの部分	体積 2.5%	
		管台とターボコンドの溶接継手 (呼び径100A以上)		
		加圧器蓋がし弁管台		
B5.40	B-F	加圧器安全弁管台 加圧器スフレイ管台 加圧器サージ管台	体積及び表面 2.5%	
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1 2.5%	
B8.20	B-H	支弁部材の管壁への取付け溶接継手 (スカーポート溶接継手)	表面 7.5%	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物(スカーポート、基礎ボルト)	VT-3 2.5%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用炉(実用原子炉)及びその附属施設における検査を引続き実施する事業運営の試験制度等」新規制要件に関する事業運営の試験にかかる場合(令和元年6月5日)の修正版(以下、電験検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験制度等)新規制要件に関する事業運営の試験にかかる場合」(令和元年6月5日)の結集を踏まえ、維持規格 JSME S NMI-2012/2013/2014を採用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器 (1.1.1.)

検査用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013増補/2014追加) JSME S MA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B2.40	B-B	管板と水室鑄との溶接継手	体積 1基の 25%	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面ののみ部分 冷却材出口管台の内面ののみ部分	体積 1基の 25%	
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手、 (呼び径100A以上)	体積及び 表面 1基の 25%	
B7.30	B-G-2	1次側マンホールを取付けボルト	VT-1 1基の 25%	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支脚脚、ベアスプレート、基礎ボルト)	VT-3 1基の 25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1「NRA文書「原子力発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引起こす電磁その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原研発表第1906051号)の改正版(以下、「電磁情報NRA文書改正という。）」の発行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新設計要件に関する事業者意見の聴取にかかる場合」(令和元年8月5日)の編集を踏まえ、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配置（1/4）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び精度	備考	
発電用原子力設備規格 維持稼働(2012年改版/2013増補/2014追加) JSNE S NM1-2012/2013/2014※1						
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100以上)				
		1次冷却材管 (27.5INID, 836.00mm, 28INID, 311INID) A, B, Cグループ	体積	25%		
		加圧器ケーシング (148, 355, 60mm)	体積	25%		
		加圧器安全弁ライン (0B) A, B, Cライン	体積	25%		
		加圧器溢返し弁ライン (0B)	体積	25%		
		余熱除去ポンプ吸入ライン (12B) B, Cグループ	体積	25%		
		SIS配管注入ライン (12B, 318, 50mm) A, B, Cグループ	体積	25%		
		SIS配管制御弁注入ライン (0B) A, B, Cグループ	体積	25%		
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100未満)				
			加圧器溢返し弁ライン (0B)	表面	25%	
B9.21	B-J					

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: JAEA文書「実用発電用原子力及びその附属施設における検査を司る起す電装その他の稼働」（令和元年6月5日原研技装第1900051号）の改正版（以下、電装解説NVA文書改正という。）の施行及び公開迄（（原研圧力容器の指針等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる迄）（令和元年8月5日）の結果を踏まえ、維持稼働 JSNE S NM1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配置 (2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び頻度	備考
発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版版/2013追補/2014追補) JSME S MA1-2012/2013/2014※1					
89.21	B-J	配管の同径名義径溶接継手 (呼び径100未満)			クラス1機器供用期間中検査で管理
		CVS充てんライン (38, 89, 10mm) Bルール	表面	2.5%	
89.31	B-J	SIS配管側ほう融注ライン (38, 60, 50mm) A, B, Cルール	表面	2.5%	
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100以上)	体積	2.5%	
89.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100未満)			
		1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A, B, Cルール	表面	2.5%	
		SIS配管側他注ライン (2B) A, B, Cルール	表面	2.5%	

※1: 本文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における検査を引続き行うべき事故その他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第1909051号)の改正版(以下、電験検定委員会文書改正という。)の施行及び公開命令「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新制基準に関する事業者意見の聴取にかかる命令」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配置 (3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2012年版改訂/2013改訂/2014改訂) JSEE S MAI-2012/2013/2014※1		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び頻度
B9.40	B-J	ソケット溶接継手 SIS駆動機ほろ軸注ライン A, B, Cグループ	表面	25%
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手 余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	表面	7.5%
B15.50	B-P	圧力保持範囲 支持構造物	VT-2	可能範囲 100%
F1.10	F-A	加圧器ケーシング	VT-3	25%
		加圧器溢返し弁ライン	VT-3	25%
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	VT-3	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: MAI文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における除染を引越越えさせることに関する調査報告書(以下、電験研報NRA文書改正という。)」の発行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新制原子炉に関する調査報告書の取組にかかる合同」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格「JSEE S MAI-2012/2013/2014」を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配置(4/4)

検査用原子力設備規格 維持規格(2012年改版/2013追補/2014追補) JSME S MA1-2012/2013/2014※1		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
F1.10	F-A	支持構造物		
		C.V.C.S.密てんライン Bループ	VT-3	25%
		S.I.S.密注入ライン A. B. Cループ	VT-3	25%
		S.I.S.低運転時低圧注入ライン A. B. Cループ	VT-3	25%
		S.I.S.低運転時高圧注入ライン A. B. Cループ	VT-3	25%

※1: NIA文書(費用発算用原子炉及びその附属施設における保守管理を引越越ごす電気その他の欠陥の排除)(令和元年6月5日原研技発第1006051号)の改正版(以下、電気検査用NIA文書改正という。)の施行及び公開会社「(原子炉圧力容器の劣化検査の試験程度等)新規検査中に關する事業審議の取組にかる会合」(令和元年8月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査計画 (クラス 1 機器供用期間中検査範囲)

5. 1 次急須圧ポンプ (1 L 1)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2 0 1 2 年改定版 / 2 0 1 3 追補 / 2 0 1 4 追補)
JSNE S MAI-2012/2013/2014※1

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
B6. 180	B-6-1	スタッドボルト	目視	1 台の 25%	
B6. 190	B-6-1	フランジ表面	VT-1	1 台の 25%	
B6. 200	B-4-1	ナット	VT-1	1 台の 25%	クラス 1 機器供用期間中検査で管理
		ワッシャー	VT-1	1 台の 25%	
B12. 20	B-4-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 1 0 0 %	
F1. 41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1 台の 25%	

※ 1 : NRA 文書 (発電用原子力設備規格 JSNE S MAI-2012/2013/2014※1) の改正版 (以下、電験検定 NRA 文書改正とイラ)。の発行及び公開会合 (「原子炉圧力容器の選別検査等」新規格要件に関する事業者委員の選取にかる会合) (令和元年 6 月 5 日) の結果を踏まえ、維持規格 JSNE S MAI-2012/2013/2014 を適用する。

重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査計画 (クラス 1 機器供用期間中検査範囲)

6. 号 (1 / 2)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2012年改定版/2013 準拠/2014 運用) JSIE S MAI-2012/2013/2014※1		高浜発電所 第 4 号機 検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度
B7.70	B-4-2	圧力保持用ボルト締付け部 (圧径 5 0 mm 以下)		
		加圧器安全弁ライン A. 4WR-055 B. 4WR-056 C. 4WR-057	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		加圧器遮断弁ライン 4WR-054A 4WR-054B 4WR-054C	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		4PV-455A 4PV-455B 4PV-454C	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		CVC系統でんライン B. 4CS-233 C. 4CS-234	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		糸熱除去ポンプ入口ライン B. 4CV-420 C. 4CV-430	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		糸熱除去ポンプ入口ライン B. 4RH-003A C. 4RH-003B	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		SIS 兼圧入ライン A. 4V-S-134A, 136A B. 4V-S-134B, 136B C. 4V-S-134C, 136C	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		SIS 低圧側低圧注入ライン A. 4V-SI-202A, 203A B. 4V-SI-202B, 203B C. 4V-SI-202C, 203C	VT-1	締め手ごとに 1台の25%
		クラス 1 機器供用期間中検査で管理		

※1: NRA 文書「発電用原子力設備規格における附属施設における検査を引き起こす異常その他の欠陥の排除」(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、亀裂検出NRA文書改正という。)の発行及び公開会合「(原子炉圧力管理の接続継手の試験制度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年6月5日)の結果を踏まえ、維持規格 JSIE S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 非(2/2)

検査用原子力設備規格 維持規格(2012年改定版/2013改訂/2014改訂) JSME S MAI-2012/2013/2014※1		維持規格(2012年改定版/2013改訂/2014改訂) JSME S MAI-2012/2013/2014※1		高圧発電所第4号機検査計画		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度			
B12.50	B-W-2	弁本体の内表面					
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	4W-R0-055 4W-R0-055 4W-R0-057	VT-3	照射井ごとに1		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	4F0V-420 4F0V-430	VT-3	照射井ごとに1		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	4V-RH-003A 4V-RH-003B	VT-3	照射井ごとに1		
		SIS新圧注入ライン A, B, Cグループ	4W-SI-134A, 136A 4W-SI-134B, 136B 4W-SI-134C, 136C	VT-3	照射井ごとに1		
B15.70	B-P	SIS経路側低圧注入ライン A, B, Cグループ	4W-SI-202A, 203A 4W-SI-202B, 203B 4W-SI-202C, 203C	VT-3	照射井ごとに1		
		圧力維持範囲		VT-2	可能範囲 100%		
		支持構造物					
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	4W-R0-055 4W-R0-055 4W-R0-057	VT-3	照射井ごとに1台の25%		
		加圧器溢返し弁ライン	4W-R0-054A 4W-R0-054B 4W-R0-054C	VT-3	照射井ごとに1台の25%		
F141	F-A	4F0V-455A 4F0V-455B 4F0V-454C	VT-3	照射井ごとに1台の25%			
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	4F0V-420 4F0V-430	VT-3	照射井ごとに1台の25%		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	4V-RH-003A 4V-RH-003B	VT-3	照射井ごとに1台の25%		

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1: MAI文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における軽微な引当り不足を指摘する他の欠陥の検出」(令和元年6月5日原研技発第190051号)の改正版(以下、電装部規程)と「新制原子力発電所の試験規程等」(令和元年8月5日)の結集を踏まえ、維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲)

原子炉容器(1/1)

番号 目号	カテゴリー	NRA文書※1※2			備考
		検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
—	—	600系Ni基金製の土蓋及び底面表面(600系Ni基金製の各原子炉容器土蓋及び底面管台まわり360°を含む。)	BMV	100%/5年	高圧発電所第4号機検査計画 クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理
		底面表面(計測用管台)			

※1:「実用発電用原子炉及びB2の附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原研技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びB2の附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23係全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)

NRA文書※1 ※2 高圧発電所第4号機検査計画				備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
—	—	配管の耐圧部分の溶接継手 充てんライン (3B) 再生熱交換器連絡管 (3B) 充てんライン連絡管	25%	クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理
			体積	
			体積	

※1: 「美川発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408053号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))
 ※2: NRA文書「美川発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合1 (原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規脚要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23版全サイクルより亀裂解釈NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1. 格納容器プレイ冷却器管側(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考	
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの間溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	第20保全サイクル			第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル		第24保全サイクル	第25保全サイクル		
C1.20	C-A	管側胴と管側胴との間溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%						A 7.5%					

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の発現」(令和元年6月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂発現NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかゝる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

2. 余熱除去冷却器管側 (1/2/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1		高 浜 発 電 所 第 4 号 機 械 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積 1基の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C1.20	C-A	管側胴と管側胴との溶接継手	体積 1基の7.5%	
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面 7.5%	

※1：MRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」（令和元年6月5日原研技発第1900051号）の改正版（以下、亀裂検出MRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に因する事業管理意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23版ウェブサイトより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画
3. 配管 (1/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヶ年)										備考					
					2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年						
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手 格納容器循環サンプ出口ロライン (355, 60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	表面	7.5%	2	PT	7.5% ₁	第20保安サイクル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								第21保安サイクル	第22保安サイクル	第23保安サイクル	第24保安サイクル	第25保安サイクル								
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径109.5mmを越える鋼肉厚9.5mmを越えるもの) 格納容器循環サンプ出口ロライン (148, 355, 60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	体積又は表面	7.5%	6	PT	7.5% ₀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								格納容器スプレイポンプ入口ロライン (148, 355, 60mm) A、Bライン	A1	A1	B1	-	-	-	-	-				
F1.21	F-A	支持構造物																		
		SIS高温側低圧注入ロライン	VT-3	7.5%	3	VT-3	7.5% ₁													
		充てん/高圧注入ポンプ入口ロライン	VT-3	7.5%	22	VT-3	7.5% ₂													
		原子炉補給冷却水ポンプ出入口ロライン	VT-3	7.5%	112	VT-3	7.5% ₉													
		格納容器循環サンプ出口ロライン Aライン (格納容器スプレイ系統)	VT-3	7.5%	1	VT-3	7.5% ₁													
		格納容器スプレイポンプ入口ロライン Aライン	VT-3	7.5%	7	VT-3	7.5% ₁													
		格納容器スプレイポンプ出口ロライン A、Bライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% ₁													
		格納容器スプレイ冷却器出口ロライン A、Bライン	VT-3	7.5%	18	VT-3	7.5% ₂													
		格納容器スプレイ系統余熱除去系統連絡ロライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% ₁													
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ロライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% ₂													
可搬式代替低圧注水ポンプ出口ロライン	VT-3	7.5%	2	VT-3	7.5% ₁															
アニユラス空気浄化ロライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5% ₅															

※1: NRA文書「家用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事象その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研経基第1906051号)の改正版(以下、毎割検察第1906051号)の旅行及び公開令(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業普及の聴取にかかる令(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
3. 配管 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S NA1-2008※1 高浜発電所第4号機検査計画					
C3.20	C-C	配管の支持部取付け溶接継手			
		余熱除去ポンプ入口ライン (318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7. 5%	
		余熱除去ポンプ出口ライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7. 5%	
		SIS低温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7. 5%	
		SIS低温側ほう酸注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, 共通ライン	表面	7. 5%	
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (216, 30mm)	表面	7. 5%	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7. 5%	
		1次冷却材管低温側高圧注入ラインほう酸注入タンク出口側 (89, 10mm)	表面	7. 5%	
		格納容器再循環タンプ出口ライン (355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	表面	7. 5%	
		配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)			
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン (128, 148, 318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は表面	7. 5%	
		SIS低温側低圧注入ライン (68, 108, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	体積及び表面	7. 5%	
		格納容器再循環タンプ出口ライン (148, 355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	体積又は表面	7. 5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の発現」(令和元年6月5日原規発第1906051号)の改正版(以下、亀裂発現NRA文書改正という。)の施行及び公開令(「原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等」)新規制要件に関する事業者等意見の聴取にかかる令(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画
3. 配管 (3/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S NA1-2008※1					
		配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)			
C5.21	C-F	SIS低溫側ほう融注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm φ) (10mm) A, B, C, 共通ライン 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面 表面	7.5% 7.5%	
C5.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手) SIS低溫側ほう融注入ライン (2B) A, B, Cライン	表面	7.5%	
		支持構造物			クラス2機器供用期間中検査で管理
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン A, Bライン	VT-3	7.5%	
		SIS低溫側ほう融注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%	
		SIS低溫側ほう融注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-3	7.5%	
		格納容器再循環ポンプ出口ロライン A, Bライン (余熱除去系統)	VT-3	7.5%	

※1: NRA文書「運用者発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事象の他の名前の規格」(令和元年6月15日原規法発第1906051号)の改正版(以下「原規発第1906051号」)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業指意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
4. 格納容器スプレッド(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考							
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年								
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5% 1			第20保全サイクル		第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル											
F1.43	F-A	ボンプの台板脚	V T-3	1台の7.5%	4	V T-3	1台の7.5% 1					A 1													

※1：NRA文書「美発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）（令和元年8月5日）の破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
5. 余熱除去ポンプ (C/LT)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
06.10	C-6 ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1.43	F-A ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者協会の取組にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2018年度中の計画変更)を踏まえ、第23条全サイクルより維持規格(JSME S MA1-2012/2013/2014)を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
 6. 原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	12	VT-3	1台の7.5% 1									第24保全サイクル	第25保全サイクル	-

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす電線その他の欠陥の発見」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、毎裂解NRA文書改正という。.)の施行及び公開台「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意思の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
ア、恒設代替低圧注水ポンプ（17/17）

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考					
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
F1.43	F-A ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	2	VT-3	1台の7.5% 1							1		第24保全サイクル		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす電設その他の次の種類の弊弊」(令和元年6月5日原規発第1906051号)の改正版(以下、毎裂解新NRA文書改正という。)の施行及び公開(※)の施行及び公開(※)の試験程度(等)新規制要件に関する事業者意思の聴取にかかる(※) (令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画
8. 弁（1/2）

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考		
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
F1.43	F-A	支持構造物							2015年 第20保全 サイクル											
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライ ン 4V-TCV-2342A 4V-TCV-2342B 格納容器スプレイ系統弁閉鎖去系統 連絡ライン 4V-RH-100 4V-RH-101	VT-3 VT-3 VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5% 類似弁ごと に1台の 7.5%	2 2	VT-3 VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5% 類似弁ごと に1台の 7.5%		2017年 第21保全 サイクル							2022年 第24保全 サイクル		2023年 第25保全 サイクル		

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の衣服の補綴」（令和元年6月5日原研発第1906051号）の改正版（以下、亀裂発露RNA文書改正という。）の施行及び公開会社「（原子炉圧力容器の劣化検査の試験程度等）新規制要件に関する事業者委員の聴取にかかる査会」（令和元年8月5日）の結果（令和元年8月5日）の報告（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画
8. 弁 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	備考
F1.43	F-A	支持構造物			クラス2 機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ吸入ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		余熱除去ポンプ出口ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		SIS 低温側低圧注入ロライン A. C ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		SIS 低温側ほう酸注入ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン A. B ライン	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%	

※1、NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす機器その他の危険の軽減」(令和元年6月5日原規技委第1006051号)の改正版(以下、亀裂緩解NRA 文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業計画書の聴取にかかる答言」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23表至サイフルより維持設備 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画
9. クラス２機器漏えい検査（17/4）

発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版） JSME S NAI-2008※1		高浜発電所 第4号 機械検査計画（10ヵ年）										備考 （漏えい区分）					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年 第20保全 サイクル	2017年	2018年 第21保全 サイクル	2019年 第22保全 サイクル		2020年 第23保全 サイクル	2021年	2022年 第24保全 サイクル	2023年 第25保全 サイクル	2024年
		化学体積制御系統															
C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2							-		○	-	(SA-1)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○			-			-	(SA-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○			-			-	(SA-3)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○			-			-	(SA-4)
C7.30 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2				○			-			-	(SA-5)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.88	0.88	VT-2							-		○	-	(SA-6)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○			-			-	(SA-7)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2				○			-			-	(SA-8)

※1-NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」（令和元年6月5日原簿様第1906051号）の改正版（以下、亀裂検察第1906051号）の改正版（以下、亀裂検察NRA文書改正という。）の施行及び公開適合「（原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる適合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス２機器供用期間中検査計画
9. クラス２機器漏えい検査（2/4）

発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版） JSME S MA1-2008※1		高浜発電所 第4号 機 検 査 計 画（10ヵ年）										備 考 （漏えい区分）					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
							第20回保全 サイクル	第21回保全 サイクル	第22回保全 サイクル	第23回保全 サイクル	第24回保全 サイクル	第25回保全 サイクル	第26回保全 サイクル				
		余熱除去系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Aー余熱除去ポンプ入ロライン Bー余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2 VT-2	4.1 4.1	4.1 4.1	VT-2 VT-2						○	-		○	-	(SA-9) (SA-10)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Aー余熱除去ポンプ出ロライン Bー余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2 VT-2	4.1 4.1	4.1 4.1	VT-2 VT-2				○	○		-			-	(SA-11) (SA-12)
		燃料取替用水系統															
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2				○			-			-	(SA-13)
		安全注入系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入ロライン ほう除注入タンク及び出入ロライン	VT-2 VT-2	4.9 18.8	4.9 18.8	VT-2 VT-2				○	○		-			-	(SA-14) (SA-15)
C7.30 C7.70	C-H	充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	17.16	17.16	VT-2				○			-			-	(SA-16)
		格納容器再循環サブ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.1	4.1	VT-2							-		○	-	(SA-17)

※1 - NRA文書「原子力発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の劣化の緩解」（令和元年6月5日原規技発第1406051号）の改正版（以下、亀裂緩解NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23回保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
9.クラス2機器漏えい検査(3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		格納容器スプレイ系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2									○	-	(SA-18)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2									○	-	(SA-19)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2									○	-	(SA-20)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2									○	-	(SA-21)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2				○						-	(SA-22)
		格納容器再循環サブ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	0.283	0.283	VT-2						○				-	(SA-23)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2										○	(SA-24)
		恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										○	(SA-25)
C7.30 C7.70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2										○	(SA-26)
		換気空調装置系統															
C7.30 C7.70	C-H	アニュラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2										○	(SA-27)
		中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	-	(*)									○	-	(SA-56)
C7.30	C-H	中央制御室換気空調設備出ロライン	VT-2	0.00392	-	(*)									○	-	(SA-57)

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起す電裂その他の電裂の解釈(令和元年6月5日原研技発第1900051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)」の施行及び公開を含む(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の採取にかゝる会合(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保安サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

(*)1)技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施
(*)2)分割して外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
9. クラス2機器漏えい検査 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1		高浜発電所第4号機械検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
							第20保全 サイクル	第20保全 サイクル	第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第25保全 サイクル		
		原子炉補機冷却水系統																
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2 VT-2	0.98 0.98	0.98 0.98	VT-2 VT-2									○	-		(SA-42) (SA-43)
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン B-赤てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却 水側)	VT-2 VT-2	0.98 0.98	0.98 0.98	VT-2 VT-2						○				-		(SA-44) (SA-45)
		空気系統																
C7.50 C7.70	C-H	制御用空気加圧器送かし弁用供給ライン(1) 制御用空気加圧器送かし弁用供給ライン(2)	VT-2 VT-2	0.98 0.98	0.98 0.98	VT-2 VT-2						○				-		(SA-53) (SA-54)
		アミニオラスダンパ作動用蒸気供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2				○						-		(SA-55)
		補助水系統																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				○						-		(SA-40)

※1 - NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の発生の軽減」(令和元年6月5日原簿誌第1906051号)の改正版(以下、亀裂類NRA文書改正という。.)の施行及び公開奉告「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.0. 原子炉種補機冷却水冷却器取組 (1 / 1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考			
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年				
C1.10	C-A	胴胴と胴胴フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%	第20保安サイクル													対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
		胴胴の周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%				7.5%										
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5%				A1										対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5%				A1										対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器

※1-NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす事象の発生頻度の報告」(令和元年6月5日版)第1006051号)の改正版(以下、毎年度NRA文書改正という。)の施行及び公開会社(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画
 1.1. クラス2 機器漏えい検査 (1/2)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)				
				S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		2022年	2023年	2024年	
		主給水系統																
C7.10		A- 蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	VT-2													(SA-28)
C7.30	C-H	B- 蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	VT-2													(SA-29)
C7.70		C- 蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	VT-2													(SA-30)
		主蒸気系統																
C7.30		A- 蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	VT-2													(SA-31)
C7.70	C-H	B- 蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	VT-2													(SA-32)
		C- 蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	VT-2													(SA-33)
		補助給水系統																
C7.30	C-H	タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT-2	8	VT-2													(SA-34)
C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ入ロライン	VT-2	水張り	VT-2													(SA-35)
C7.30	C-H	タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	VT-2													(SA-36)
C7.50	C-H	電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	水張り	VT-2													(SA-37)
C7.70	C-H	電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	VT-2													(SA-38)
C7.30	C-H	補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	8.6	VT-2													(SA-39)
C7.70		2次系補助給水系統																
C7.30	C-H	復水タンク給水ライン	VT-2	1.55	VT-2													(SA-41)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原研経第906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開令(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかゝる会合(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
 1.1.1.クラス2機器漏えい検査(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S-A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
							第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル		
		原子炉補機冷却海水系統														
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレナーナ入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2								○		-
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2								○		-
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(B原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	0.7	0.7	VT-2								○		-
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2						○				-
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2						○				-
C7.30 C7.70	C-H	AB原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2								○		-
		C-D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2						○				-
		ディーゼル発電機始動用空気系統														
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	3.2	3.2	VT-2								○		-
		B-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	3.2	3.2	VT-2								○		-

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年6月5日原簿送第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版） JSME S MA1-2008※1	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高圧発電所第4号機検査計画（10ヵ年）										備考 （漏えい区分）							
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年								
			原子炉補機冷却水系統					第20回保全 サイクル																	
D2.30	D-B		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ出入ロライン	VT-2	0.33	0.33	VT-2																		(SA3-1)
D2.10	D-B		原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素ポンベ	VT-2	14.7	14.7	VT-2																		(SA3-2)
D2.30	D-B		原子炉補機冷却水サージタンク加圧用窒素供給ライン	VT-2	17.16	17.16	VT-2																		(SA3-3)
D2.30	D-B		A-ガスサンブル冷却水屋外排水ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2																		(SA3-4)
			制御用空気系統																						
D2.10	D-B		A-ニコラスダンパ作動用窒素ポンベ	VT-2	14.7	14.7	VT-2																		(SA3-5)
D2.30	D-B		A-ニコラスダンパ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2																		(SA3-6)
			試料採取系統																						
D2.30	D-B		可搬型格納容器ガス試料圧縮装置及び可搬型格納容器水素濃度計測装置供給ライン	VT-2	0.5	0.5	VT-2																		(SA3-7)

※1：NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす原因の監視」（令和元年6月5日原簿誌発第1006051号）の改正版（以下、亀裂監視NRA文書改正という。）の施行及び公開会合（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合（令和元年6月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、第23保全サイクルより維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1		高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)											備考 (漏えい区分)			
項目 番号	検査範囲 ライン名称	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
D2.30	大容量ポンプ出口ライン送水用50m、10m、5mホース(42本)	VT-2	1.00	1.00	VT-2		第20号完全 サイクル		第21号完全 サイクル	第22号完全 サイクル	第23号完全 サイクル	-	第24号完全 サイクル	第25号完全 サイクル	-	

※1：NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(令和元年8月5日原研技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂検察NRA文書改正という。)の発行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂検察NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA 使用筒圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年)										備 考 (漏えい区分)	
							2019年 第22回保全 サイクル	2020年 第23回保全 サイクル	2021年 -	2022年 第24回保全 サイクル	2023年 第25回保全 サイクル	2024年 -	2025年 第26回保全 サイクル	2026年 第27回保全 サイクル	2027年 -	2028年 第28回保全 サイクル		
D2. 30	D-B	送水車(2台)	VT-2	1.22	1.22	VT-2												
D2. 10	D-B	送水車燃料タンク(2基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												※当該設備の燃料油にて実施。
D2. 30	D-B	送水車送水用50mホース(54本)	VT-2	1.22	1.22	VT-2												
D2. 10	D-B	送水車送水用20 mホース(6本)	VT-2	1.22	1.22	VT-2												

※1: WRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす種別その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、電製解釈WRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等) 新規制要件に関する事業者意見の聴取」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、電製解釈WRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持稼働 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3 機器供用期間中検査計画

1. クラス3 機器漏えい検査

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 ※1		高圧発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ(2台)	VT-2	1.47	1.47	VT-2	第20回保全 サイクル				第21回保全 サイクル	第22回保全 サイクル	第23回保全 サイクル	-	第24回保全 サイクル	第25回保全 サイクル	-
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口(2本)	VT-2	1.47	1.47	VT-2								○ 2本	○ 2本		
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ取水用3mホース(2本)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2								○ 2本			
D2.30	D-B	仮設組立式水槽(2基)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2								○ 2基			
D2.30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース(フランジ継手付、フランジ継手なし)(16本)	VT-2	1.47	1.47	VT-2							○ 4本		○ 8本	○ 4本	

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破漏を引き起こす破漏その他の欠陥の継続」(令和元年6月5日原簿持券第1906051号)の改正版(以下、発電用原子力設備規格(以下、発電用原子力設備規格)の発行及び公開会社「(原子炉圧力容器の溶接接手の取組程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの案」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、発電用原子力設備規格(JSME S MA1-2012/2013/2014)を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

項目番号		検査範囲 ライン名称		検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第3号機検査計画（10カ年）										備考 （漏えい区分）
								2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
			非常用電源															
D2.10	D-B		燃料タンク(4A電源車)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.10	D-B		燃料タンク(4B電源車)	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.10	D-B		燃料タンク(4A電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
D2.10	D-B		燃料タンク(4B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											

重大事故等クラス3 機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時の 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	高圧発電所第4号機 検査計画(10か年)										備考 (漏えい区分)			
							2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年				
		制御用空気系統					第20保全 サイクル													
D2.10	D-B	4窒素ポンベ(加圧器遮がし弁作動用)(A系用)	VT-2	14.7	14.7	VT-2														(SA3-1)
D2.10	D-B	4窒素ポンベ(加圧器遮がし弁作動用)(A系用予備)	VT-2	14.7	14.7	VT-2														(SA3-2)
D2.10	D-B	4窒素ポンベ(加圧器遮がし弁作動用)(B系用)	VT-2	14.7	14.7	VT-2														(SA3-3)
D2.10	D-B	4窒素ポンベ(加圧器遮がし弁作動用)(B系用予備)	VT-2	14.7	14.7	VT-2														(SA3-4)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁A系用窒素マニホールド	VT-2	17.16	17.16	VT-2														(SA3-5)
				0.98	0.98	VT-2														(SA3-6)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁B系用窒素マニホールド	VT-2	17.16	17.16	VT-2														(SA3-7)
				0.98	0.98	VT-2														(SA3-8)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁A系用窒素マニホールド(予備)	VT-2	17.16	17.16	VT-2														(SA3-9)
				0.98	0.98	VT-2														(SA3-10)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁B系用窒素マニホールド(予備)	VT-2	17.16	17.16	VT-2														(SA3-11)
				0.98	0.98	VT-2														(SA3-12)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(A系用30m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2														(SA3-13)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(B系用8m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2														(SA3-14)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(30m予備)	VT-2	0.98	0.98	VT-2														(SA3-15)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、18m、12mホース(A系用12m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2														(SA3-16)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、18m、12mホース(B系用18m)	VT-2	0.98	0.98	VT-2														(SA3-17)
D2.30	D-B	4加圧器遮がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、18m、12mホース(20m予備)	VT-2	0.98	0.98	VT-2														(SA3-18)

※1 NRA文書「専用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の劣化の取組(令和元年6月5日原研技発第906051号)の改正版(以下、亀裂劣化NRA文書改正という)の施行及び公開会合(原子炉圧力容器の劣化取組の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかける会合(令和元年8月5日)の結果(2018年度中の計画変更)を踏まえ、亀裂劣化NRA文書改正の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
 1. クラス3機器漏えい検査

		高浜発電所第4号機検査計画（10カ年）										備考 （漏えい区分）				
項目番号	カテゴリ	検査方法	S A 使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		2021年	2022年	2023年	2024年
		漏えい検査範囲 ライン名称				第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-	
		SFPスプレイ系統														
D2.30	D-B	スプレイヘッド(A)	1.4	1.4	VT-2											○ SA3-1
D2.30	D-B	スプレイヘッド(B)	1.4	1.4	VT-2											○ SA3-2

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査

発電原子力設備規格 維持規格(2012年版) JSME S NA1-2012/2013/2014※		高浜発電所 第4号機 検査計画						備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度		2022年	2023年	2024年	2025年		
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	100% 各保全サイクル毎	1	U T	100% 各保全サイクル毎	24保全 サイクル	25保全 サイクル	-	26保全 サイクル			
								加圧器サージ管	1	1	-	1		
								加圧器逃がし弁ライン	1	1	-	1		
								加圧器スプレイレイン Cループ	1	1	-	1		
								余熱除去ポンプ入口ライン Cループ	1	1	-	1		
								SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ	6	6	-	A2 B2 C2	A2 B2 C2	
								SIS高温側低圧注入ライン A, Bループ	5	5	-	A3 B2	A3 B2	A3 B2
								SIS低温側低圧注入ライン Aループ	2	2	-	A2	A2	A2
								SIS高温側補助注入ライン Cループ	1	1	-	C1	C1	C1

※2021年度 原保計第58号「大浜発電所3号機加圧器スプレイレイン配管溶接部における有意な欠陥指示の原因調査結果を踏まえた個別検査について」に従い、NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」及び維持規格に基づき管理する。